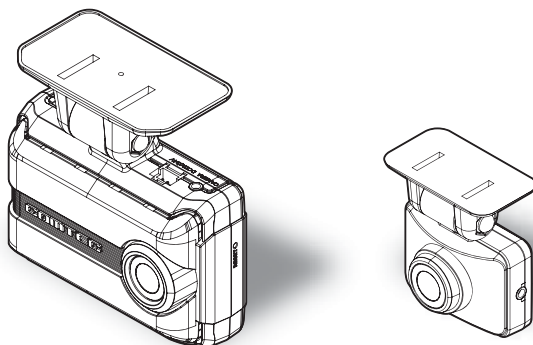


# ドライブレコーダー HDR301

取付説明書／取扱説明書／保証書



事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。

お買い上げ時の設定では、液晶ディスプレイは安全運転の妨げとならないように、起動後速度 10km/h 以上で走行すると非表示に切替わります。(⇒ P47)

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載してあります。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後は、いつでも見ることが出来る所に保管してください。なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

## ⚠ 注意

- ・本製品が動作中、表面が高温になる場合がありますが、異常ではありません。
  - ・本製品が動作中、通気孔付近や電源接続コネクタ、カメラ接続端子、レンズ、SD カードスロット周辺、SD カードは特に高温になります。触れる際はご注意ください。
  - ・本製品が動作した状態（駐車監視モード中含む）で microSD カードの抜き差しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSD カードのアクセスランプ（橙）が消灯したことを確認し、microSD カードの抜き差しを行ってください。
- ※駐車監視モード中は P56 を参考に取り出しを行ってください。



はじめに

取付け

映像を撮る

映像を見る

運転支援機能  
を使用する

設定

駐車監視モード  
を使用する

その他

# 目次

目次	2	駐車監視モードを使用する	
はじめに	3	(オプション)	54
安全上のご注意	3	駐車監視モードについて	54
ご使用上のお願い	5	駐車監視モードの動作について	55
知っておきたいこと	7	付 録	57
新しい microSD カードを 使用する場合について	9	よくあるご質問	57
梱包内容	10	メッセージ一覧表	58
各部名称	11	記録時間の目安	60
microSD カードの 取り出し方について	12	LED ランプ確認表	61
取付方法	13	オートディマー機能	61
取付けを行う前に	13	商標について	61
直接配線コードを接続する	14	製品仕様	62
フロントカメラの 取付位置を確認する	15	保証規定	63
フロントカメラを取付ける	16	HDR301 保証書	裏面
リヤカメラを取付ける	19		
カメラケーブルを配線する	20		
動作を確認する	22		
映像を撮る	23		
映像の記録について	23		
録画を開始する	29		
録画を終了する	29		
リセットスイッチについて	29		
録画画面表示	30		
本体音量を調整する	31		
映像を見る	32		
フロントカメラで映像を再生する	32		
録画データの種別を変換する	34		
パソコンで映像を再生する	35		
運転支援機能を使用する	37		
運転支援機能について	37		
キャリブレーションを行う	38		
運転支援機能の各設定について	40		
設 定	44		
設定方法	44		
設定一覧	45		





## 安全上のご注意






ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」、「注意」の2つに区分して、説明しています。















 **警告** この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について	
	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけていただきたい「注意」内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
<b>長押し</b>	スイッチを3秒程度長めに押すことを示しています。

 <b>警告</b>	
	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。

# はじめに

⚠ 警告	
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与えるおそれがあります。
	穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
	運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
	エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。
	microSD カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまうおそれがあります。
	取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
	本製品を使用する場合は必ず弊社が指定した電源ケーブルをご使用してください。指定以外のものを使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
⚠ 注意	
	気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
	フロントカメラの通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
	本製品を下記のような場所で保管しないでください。変色や変形など故障の原因となります。 ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。 ・湿度が高い所やほこりの多い所。
	microSD カードを本製品に挿入する場合、挿入方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
	本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。 ・本製品に静電気や電気ノイズが加わった場合。 ・本製品を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
	一部の先進運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

## ご使用上のお願い

- **本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。**
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- **事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。**
- microSD カードを抜く時は必ず、車両キースイッチ OFF 後 **microSD カードのアクセスランプ（橙）が消灯**したことを確認してから抜いてください。microSD カードへのデータ書込み中および読み込み中に microSD カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSD カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSD カード内に本機以外のデータを入れしないでください。動作が不安定になることがあります。
- **本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。**
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画を保存することをおすすめします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面に「高温注意」が表示されるなど製品が正常に動作しないことがあります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

# はじめに

- ガラスにスモークフィルムが貼られた車両（純正プライバシーガラス装着車除く）や夜間の明かりがない場所などでは、道路状況が見えにくい映像が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星からの電波が受信できない場合があります。
- 弱電界地域では地上デジタルテレビ放送が映らなくなる場合があります。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、ビューワソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- **運転支援機能は、運転者の負担軽減を目的とし、周辺状況を補助的にお知らせする機能です。すべての周辺状況を判断することはできません。お知らせの有無にかかわらず、必ず運転者が状況を確認して運転を行ってください。**
- 本製品にはお買い上げの日から 3 年間の製品保証がついています。（ただし microSD カード、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません）
- 本製品は動作安定性向上のため、ソフトウェア（ファームウェア）のアップデートプログラムを弊社ホームページで公開する場合があります。定期的に弊社ホームページをご確認いただき、常に最新のバージョンでのご使用を推奨します。  
※アップデートプログラムのダウンロードにかかる通信費やアップデートに関する作業代はお客様のご負担となります。
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品は DC12V/24V 車専用です。
- 本製品を使用する場合は、**必ず付属の直接配線コードまたは専用オプション品を使用してください。**
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## 知っておきたいこと

### ● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

### ● GLONASS とは

「GLObal'naya NAVigatsionnaya Sputnikovaya Sistema」ロシア宇宙軍の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

### ● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS) とは

「Quasi Zenith Satellites System」宇宙航空研究開発機構（JAXA）の衛星を利用し、日本上空での現在位置を計測するシステムです。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

### ● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

### ● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

### ● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

### ● GPS の速度表示について

GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

# はじめに

## ● 液晶ディスプレイについて

- ・液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・液晶ディスプレイは周囲の温度が約 75℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約 -10℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。  
※上記の状態ではディスプレイが表示されていない場合でも、その他の機能は正常に動作しています。

## ● microSD カードについて

- ・付属の microSD カードは本製品専用です。
- ・本製品の使用には、microSD カードが必要です。  
本製品の対応 microSD カードと付属 microSD カードは以下の通りです。  
※対応 microSD カード：8GB～128GB (class10 推奨)  
※本製品付属 microSD カード：32GB (class10)
- ・**microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合で約1～2年を目安に交換することをおすすめします。また、使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。**  
**※寿命となった microSD カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。**
- ・microSD カードをパソコンでフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
- ・本製品使用時は付属または別売りオプションの microSD カードを使用してください。**弊社製品以外の microSD カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。**

## ● PURECEL Plus-S について

本製品には、夜間やトンネル内などの暗い場所でもノイズが少なく鮮明な映像を記録できる、OMNIVISION 社の PURECEL Plus-S 技術を搭載した CMOS センサーを採用しています。



## ● 本製品のファイルシステムについて

- ・本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。
- ・本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによる microSD カードの断片化が起らないファイルシステムとなっているため、microSD カードを定期的にフォーマットせずに使用することができます。  
※本製品は microSD カードを定期的なフォーマットをせずにご使用いただけますが、microSD カードは消耗品のため、**その特性上、フォーマット頂いた方がより長く使用することができます。**
- ・本製品で記録したデータをパソコンなどで削除を行うと、本製品に戻した際に録画データの整合性が取れず SD カードの初期化画面へ移行します。記録したデータを削除する場合は、ビューワソフトを使用して削除する、または本製品の設定メニューから SD カードの初期化を行なってください。
- ・パソコンなどでフォーマットを行なった microSD カードを本機へ挿入すると SD カードの初期化画面が表示されますので、そのまま使用する場合は初期化を行なってください。

## ● パソコンでのフォーマットについて

パソコンで microSD カードをフォーマットする場合は、専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットを行なってください。フォーマットソフトは、下記 SD アソシエーションのホームページから入手できます。

URL : <https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>

※フォーマットをすると、microSD カードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行なってください。

## ● ビューワソフトについて

専用ビューワソフトは弊社ホームページ (<https://www.e-comtec.co.jp/>) よりダウンロードを行うことができます。

## 新しい microSD カードを使用する場合について

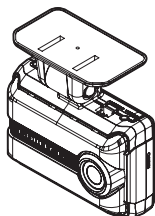
新しい microSD カードや付属以外の microSD カードを使用する際は必ず、本製品で SD カードの初期化を行なってください。(⇒ P53)

# はじめに

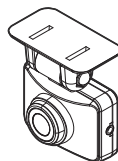
## 梱包内容

- ご使用いただく前に、以下の梱包内容が揃っていることをご確認ください。
- 万一不足している物があつたり、取扱説明書に乱丁、落丁があつた場合は、弊社サービスセンターにご連絡ください。

HDR301 フロントカメラ

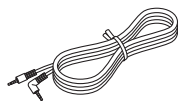


リヤカメラ



### 付属品

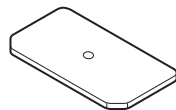
カメラケーブル  
(約 7m)



直接配線コード  
(約 4m/1A ヒューズ内蔵)



フロントカメラ取付ステー  
固定用両面テープ (1 枚)



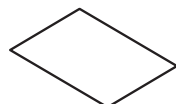
リヤカメラ取付ステー  
固定用両面テープ (1 枚)



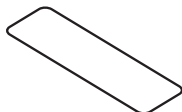
六角レンチ (ステー角度調整用)  
(2.5mm/1 個)



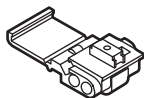
脱脂クリーナー (1 枚)



ステッカー (1 枚)  
(150 × 42mm)



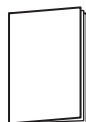
エレクトロタップ (1 個)  
(0.3sq ~ 1.25sq 用)



microSD カード  
(32GB/1 枚)



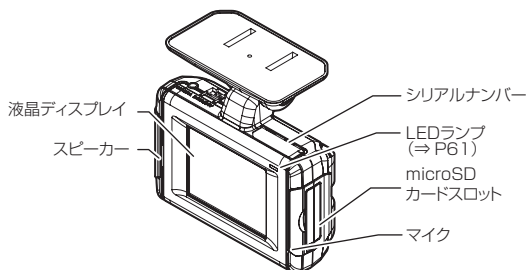
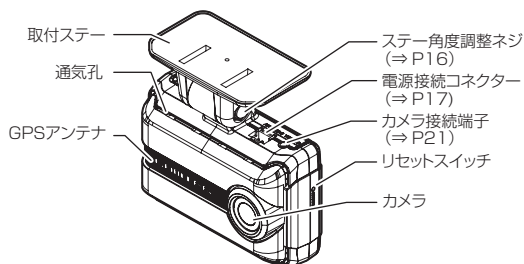
取扱説明書  
(本書 / 1 冊)



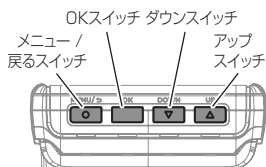
※出荷時フロントカメラに  
セットされています。

別売オプション品の詳細については、  
弊社ホームページをご確認ください。

## 各部名称



## ■フロントカメラ下部



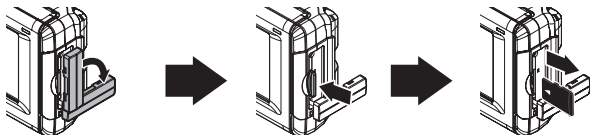
## ⚠ 注意

- ・本製品が動作中、フロントカメラ表面が高温になる場合がありますが、異常ではありません。
- ・本製品が動作中、通気孔付近や電源接続コネクタ、カメラ接続端子、レンズ、SD カードスロット周辺、SD カードは特に高温になります。触れる際はご注意ください。
- ・microSD カードは消耗品であり、約 1～2 年を目安に交換することをおすすめします。
- ・microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・駐車監視モードなど長時間録画を行うと早めの交換が必要になります。
- ・付属品や別売オプション品以外の microSD カードの動作保証は致しかねます。
- ・フロントカメラの通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

# はじめに

## microSD カードの取り出し方について

- microSD カードを取り出すときは、車両キースイッチを OFF にして、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出てきたら引き抜いてください。また、挿入するときは「カチッ」と音が鳴るまで押し込んでください。
- 駐車監視モード中は (⇒ P56) を参考に取出してください。



カバーを引き出し、横へ倒す。 microSD カードを軽く押し込み、 少し飛び出てきたら引き抜く。

- ※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSD カードの口ゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

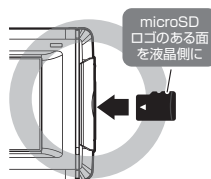
### ⚠ 注意

- 本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、SD カードスロット周辺、SD カードは特に高温になりやすいため、触れる際はご注意ください。
- 本製品が高温の場合は、温度が下がった後で microSD カードの抜き差しを行なってください。
- エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした状態で microSD カードの抜き差しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSD カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSD カードの抜き差しを行なってください。  
※ 駐車監視モード動作中は P55 を参考に駐車監視モードを終了させ、取出しを行なってください。
- microSD カードをフロントカメラの microSD カードスロットに挿し込む際は、向きや挿入方向にお気を付けてください。無理に挿入すると、microSD カードスロットの破損や microSD カード自体の破損の原因となります。
- microSD カードを抜く際に、ラジオペンチなどの工具を使用しないでください。microSD カード破損の原因となります。



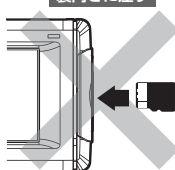
microSD カード  
アクセスランプ

正しい向き

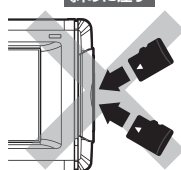


間違い

裏向きに差す



斜めに差す

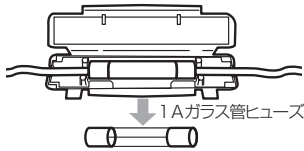


## 取付けを行う前に

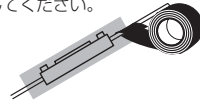
安全に取付けるため、下記の点に注意し、本製品の取付けを行なってください。

### ヒューズ交換方法

付属直接配線コードのヒューズホルダーのキャップを開け、同じ容量、サイズのガラス管ヒューズ (1A) と交換してください。また、初回取付け時やヒューズを交換した後は必ず絶縁テープでヒューズホルダーを保護してください。



初回取付け時またはヒューズ交換後、絶縁テープでヒューズホルダーを保護してください。

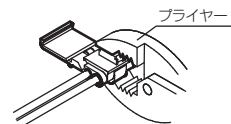
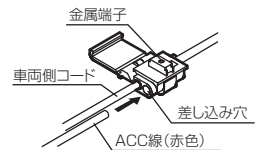
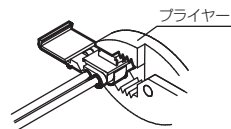
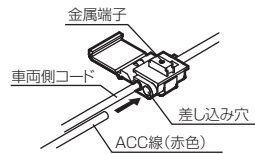


### エレクトロタップを使った接続方法

本製品付属のエレクトロタップの適用電線径は 0.3sq ~ 1.25sq です。付属のエレクトロタップを使用し接続する際は、必ず線径に合った車両ハーネスへ接続してください。線径が合わない場合、ハーネスの半嵌合や断線のおそれがあり、接続不良の原因となります。

**※必ず付属のエレクトロタップをご使用ください。接続不良の原因となります。**

- 1) 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、付属直接配線コードのACC線は差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。
- 2) プライヤー等で金属端子を完全に押し込みます。
- 3) カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。
- 4) 最後に市販の絶縁テープを巻いて接続部を保護します。



# 取付方法

## 直接配線コードを接続する

付属直接配線コードの各配線を車両の ACC 電源線・車両アースボルトに接続します。

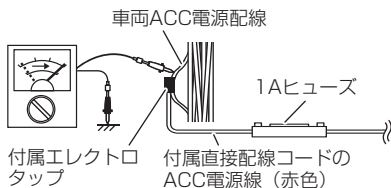


## ACC 電源線を接続する

付属直接配線コードの ACC 電源線を車両の配線に**付属のエレクトロタップ**で接続します。

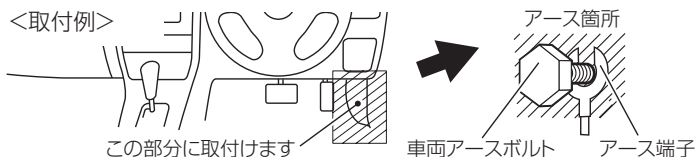
※ ACC 電源線は OFF の位置で電圧が 0V にならない車両の場合、イグニッション電源へ接続してください。

### ACC 電源線の接続



## アース線を接続する

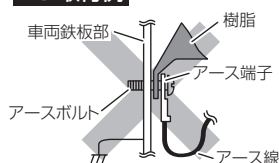
付属直接配線コードのアース端子を**車両アースボルトへ確実に共締め**してください。



### ⚠ 注意

- ・アースボルトとアース線の間に樹脂などを挟んでいる (右図) と動作が不安定になることがあります。車両鉄板部に確実に共締めしてください。
- ・アース箇所が塗装されている場合、塗装を剥がして接続を行なってください。
- ・アース端子を切断し、エレクトロタップ等で接続を行わないでください。動作不良の原因となります。

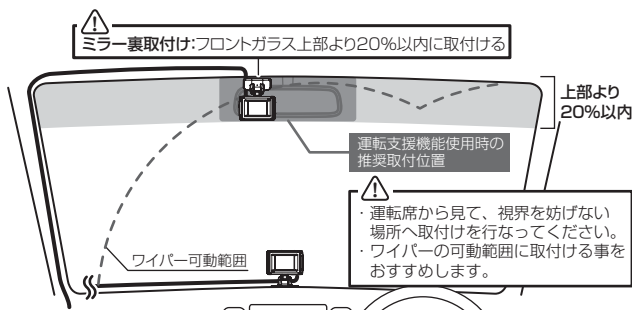
### NG 取付例



## フロントカメラの取付位置を確認する

本製品はフロントガラス、またはダッシュボードに取付けることができます。保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認の上取付けを行なってください。

運転支援機能を使用する場合、ボンネットを録画映像の下部から25%以内に収める必要があるため、フロントガラス上部・中央への取付けを推奨します。(⇒P38)



### 注意

- ・フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より20%以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けてください。  
※道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第195条および別添37
- ・ダッシュボードへ取付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。  
※道路運送車両の保安基準第21条(運転者席)、細目告示第27条および別添29
- ・ワイパーの可動範囲に取付けることをおすすめします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見つらなくなることがあります。
- ・地デジやETC等のアンテナ近くには設置しないでください。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けを行うか、ダッシュボードへ取付けを行なってください。
- ・本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本製品を車検シールの上に貼らないでください。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
- ・フロントカメラの取付位置(フロントガラスまたはダッシュボード)により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ずGセンサー設定を見直してください。
- ・フロントカメラ側に遮蔽物があるとGPS衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

# 取付方法

## フロントカメラを取付ける

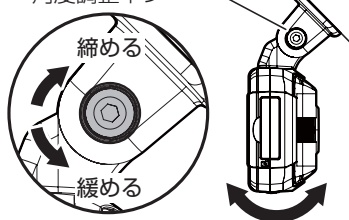
※ 本書ではフロントガラスへの取付けを例に説明を行います。

1) スターの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、フロントカメラの取付角度を調整します。調整後にネジを締めます。

- ・ フロントカメラスター部をフロントガラスに仮あてし、液晶の映像を確認しながらフロントカメラが地面と垂直になるように角度を調整してください。
- ・ 角度調整を容易に行うため、取付スターをフロントガラスへ貼付ける前に角度調整を行なってください。

### ■角度の調整

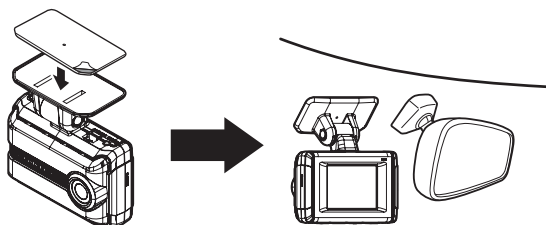
角度調整ネジ



### ⚠ 注意

- ・ **必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行なってください。破損の原因となります。**
- ・ 角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- ・ 角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- ・ 定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

2) 付属の脱脂クリーナーで取付スターおよびフロントガラスを清掃し、**よく乾かした後**、取付スターに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。



### 👉 アドバイス

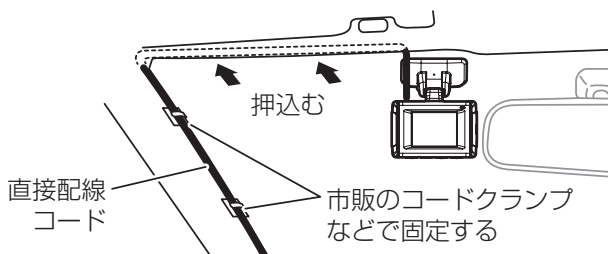
- ・ 液晶表示が消えた場合、【メニュー/戻る】スイッチを短押しすることで30秒間液晶が再表示されます。(液晶表示が速度連動で走行中は除く)(⇒P47)
- ・ 撮影した映像が暗い場合はカメラ輝度調整の設定を変更するか、本製品を少し下向きになるように角度を調整してください。
- ・ カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズれてしまいますので、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。
- ・ 広角レンズを採用しているため、スター取付角度によって、画面両端上に取付スターが映り込むことがあります。あらかじめご了承ください。



剥がれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・必ず付属のクリーナーで貼付け面および取付ステーの汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行なってください。パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。剥がれの原因となります。
- ・取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本製品をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープ剥がれの原因となります。

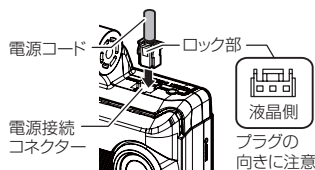
3) 付属の直接配線コードの配線の取回しを行なってください。



- ・運転の妨げにならないように、市販のコードクランプ等を使用し、配線の取回しを行なってください。
- ・地デジやラジオ、ワイパー、ETC等のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
- ・先進運転支援システムのカメラやセンサーなどへケーブルを這わせて配線を行わないでください。
- ・ケーブルの余長を車両 ECU やプロアモーターなどの付近へ束ねないでください。各装置より離して余長処理を行なってください。

## フロントカメラに直接配線コードを接続する

直接配線コードのコネクターを、フロントカメラの電源接続コネクターに挿し込んでください。



### ⚠ 注意

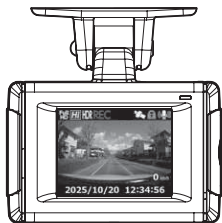
電源接続コネクターには向きがあるため、無理に挿し込むと破損します。また取外しの際はロック部を押しながら引き抜いてください。無理に配線を引っ張ると破損します。

# 取付方法

## ダッシュボードに取付ける場合

本製品は内蔵の G センサーにより自動で上下を判別し、液晶表示が反転します。

フロントガラス取付けの場合



ダッシュボード取付けの場合

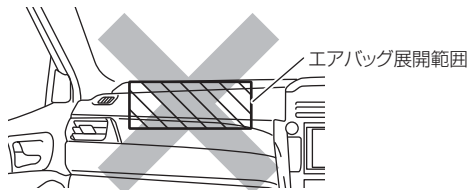


### 👉 アドバイス

- ・画面の上下方向は起動時に判別しているため、使用中にフロントカメラを反転しても画面は反転しません。その場合は、再起動を行なってからご使用ください。
- ・ダッシュボード取付の場合はカメラケーブルの L 字側端子をフロントカメラに接続してご使用ください。

### ⚠️ 注意

- ・自動車の機能の妨げになる場所やエアバッグの展開範囲には取付けないでください。エアバッグ作動時に本製品が乗員に当たるおそれがあります。



- ・ダッシュボードの形状や素材によっては貼付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に貼付面が破損するおそれがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。

ダッシュボードへの取付けはダッシュボードの熱が伝わり、『高温注意 本体温度が下がるまで録画を停止します』のメッセージ表示がフロントガラスへの取付けに比べ出やすくなります。頻繁に表示される場合はフロントガラスへの取付けをおすすめします。  
※メッセージ表示中は録画を行いません。本体温度が下がるまでお待ちください。

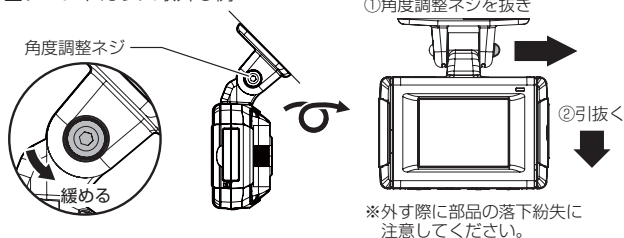
#### 高温注意

本体温度が下がるまで  
録画を停止します

## フロントカメラを取外す

角度調整ネジを緩めて、フロントカメラを引抜き取外します。

### ■フロントガラス取外し例

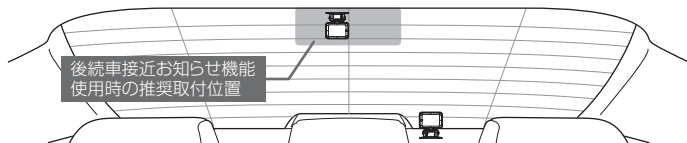


### ⚠ 注意

- ・必ず角度調整ネジを緩めた状態で取外してください。破損の原因となります。
- ・再度取付後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- ・角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- ・定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

## リヤカメラを取付ける

リヤカメラは必ず下記内容をご確認のうえ、リヤガラスまたはリヤトレイ等に取付けてください。またフロントカメラ取付時の注意事項（⇒P16～P17）も参考にしてください。



リヤカメラを取付ける前に下記内容を必ずご確認ください。

- ・リヤガラスが可動する車両やリヤガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リヤカメラはリヤトレイなどに取付けてください。
- ・リヤガラスがプライバシーガラスになっている場合、夜間に記録した映像は特に見えにくくなります。
- ・電動リヤサンシェードなど車両の装備と干渉しないことを確認の上、取付けを行なってください。
- ・ワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。範囲外に取付けるとリヤガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・両面テープの貼付け面がリヤガラスの電熱線と重ならないように取付けてください。
- ・ラジオアンテナ付近にカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。

# 取付方法

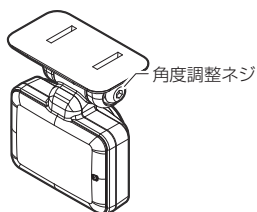
## 取付方法

※ 本書ではリヤガラスへの取付けを例に説明を行います。

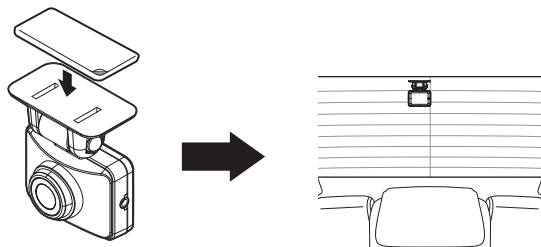
- 1) ステアの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、リヤカメラの取付角度を前後左右に調整します。調整後にネジを締めます。

※ 仮固定する際は、市販の粘着力の弱いテープなどを使用してください。

※ ステア部をリヤガラスに仮あてし、液晶の映像を確認しながらリヤカメラが地面と垂直になるように角度を調整してください。



- 2) 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびリヤガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、リヤガラスに貼付けます。



### ⚠ 注意

本製品が動作している状態でカメラケーブルの抜差しを行わないでください。故障の原因となります。

## カメラケーブルを配線する

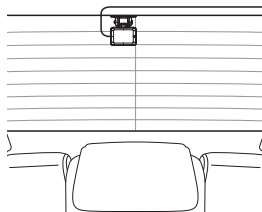
※ 本書ではフロントガラス / リヤガラスへの取付けを例に説明を行います。

※ フロントカメラをフロントガラスに取付ける場合、カメラケーブルの接続方法に指定はありません。設置する場所によって、最適な方向で取付けを行なってください。なお、本書ではフロントカメラにL字側端子を接続する取付けを例に説明を行います。

- 1) カメラケーブルの配線の取回しを行なってください。

※ 運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。

※ 地デジや ETC 等のコードと一緒に束ねないようにしてください。

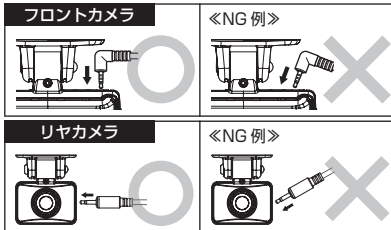


## カメラケーブル施工時の注意について

カメラケーブルを抜き挿しする際はプラグ部に荷重がかからないようにまっすぐに抜き挿ししてください。

カメラとケーブルを接続する際、以下の点にご注意ください。プラグ部破損の原因となります。

### ジャックに対し、プラグを斜めに挿す

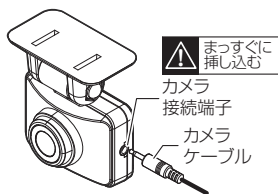


### プラグ端子・配線に負荷をかける



取付け

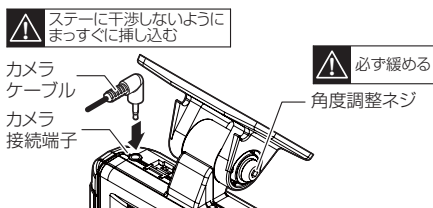
- 2) リヤカメラのカメラ接続端子に付属のカメラケーブルを「カチッ」と音になるまで挿し込み接続します。



### アドバイス

本体をダッシュボードに取付ける場合は、カメラケーブルのL字側端子をフロントカメラに接続してご使用ください。

- 3) フロントカメラのカメラ接続端子にカメラケーブルを接続します。



### 注意

フロントカメラにカメラケーブルを接続する際には、ステーの角度調整ネジを緩めた状態で、カメラケーブルに無理な力がかからないように接続してください。

# 取付方法

## 動作を確認する

### 1. GPS の受信を確認する

車両キースイッチを ON にし、本製品起動後、GPS アイコン (⇒ P30) が灰色から白色に変わり速度が表示されることを確認してください。

- ※ GPS を受信することで本体の日時が設定されます。
- ※ GPS の受信には数十秒～数分かかる場合があります。
- ※ 日時の補正には数分かかる場合があります。

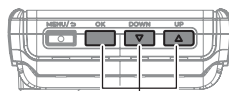


### 👉 アドバイス

- ・お買い上げ時や [ 工場出荷状態に戻す ] を行なった後など日時情報が保存されていない場合、本製品の電源を ON すると日時確認画面が表示されます。**GPS を受信することで、自動的に日時が設定されます**が、繰り返し表示される場合は、弊社サービスセンターまでご相談ください。
- ・下記のような場所では、GPS を受信することができず、GPS アイコンの表示および速度の表示がされません。(トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・森の中など) その場合、場所を移動してから確認を行なってください。

### 2. マニュアル録画の動作を確認する

- 1) LED ランプが緑点灯している時に、ラジオやオーディオを鳴らした状態で、【OK】【ダウン】【アップ】スイッチのいずれかを押ししてください。
- 2) 『ピピッ』と音が鳴り、LED ランプが緑点滅を始め、音声および録画データを記録します。



【OK】【ダウン】【アップ】  
スイッチを押す

LEDランプ緑点滅



### 3. 記録した映像を確認する

記録した映像を確認してください。(⇒ P32)

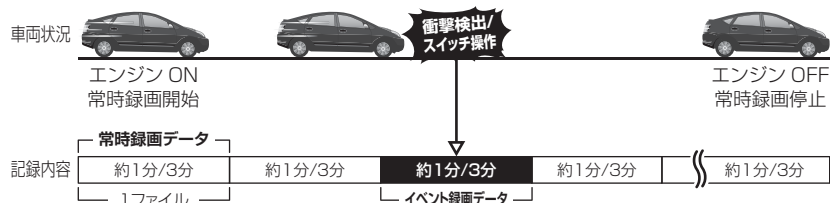
#### ◀確認内容▶

- ・『常時録画』内に電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されていること。
- ・『マニュアル録画』内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること。
- ・録画データに音声録音されていること。
- ・【OK】スイッチを**長押し**して、リヤカメラの映像が記録されていること。

## 映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。

※ 本製品は使用する microSD カードの容量によって、1 ファイルあたりの記録時間が変わります。(⇒ P26)



映像を撮る

**事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。**

### アドバイス

- ・ お買い上げ時の設定では、microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。設定により上書き時の動作を変更することができます。(⇒ P45)
- ・ フロントカメラ起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- ・ スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出して、新しく記録することはできません。
- ・ LED ランプが橙点灯または橙点減している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、メッセージを解除してください。
- ・ 本製品は、重大な事故などで電源が遮断された場合でも記録中の録画データの破損を防ぎ保存を行う、バックアップ機能を搭載しています。

## 常時録画について

- ・ エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした後からエンジンを OFF (車両キースイッチを OFF) にするまでを、常時録画データとして microSD カードに自動で記録を続けます。
- ・ お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

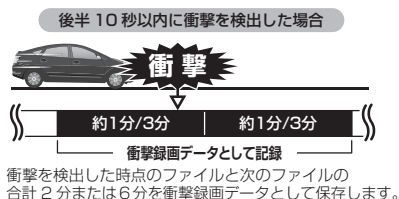
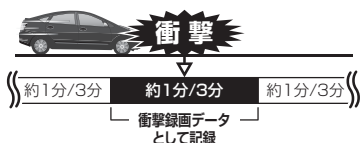
# 映像を撮る

## イベント録画について

- ・ イベント録画には下記の 4 種類があります。
  - [衝撃録画] ……衝撃を検出した時点のファイルを記録
  - [マニュアル録画] ……スイッチ操作した時点のファイルを記録
  - [後続車接近録画] ……後続車の接近を検出した時点のファイルを記録
  - [駐車監視衝撃録画] ……駐車監視モード中に衝撃を検出した時点のファイルを記録
- ・ お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・ [上書き禁止] 設定を変更することにより、古い映像を消去せず、記録を停止することもできます。(⇒ P45)
- ・ 本製品は使用する microSD カードの容量によって、1 ファイルあたりの記録時間が変わります。(⇒ P26)

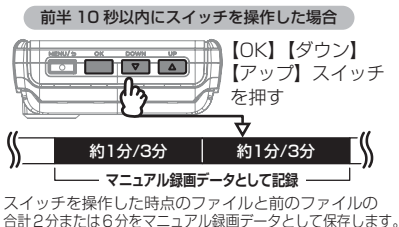
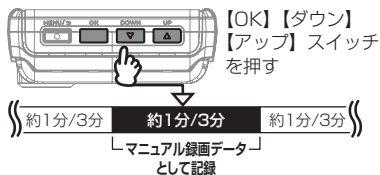
### ■ 衝撃録画データ

- ・ 本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・ ただし 1 ファイルの前半 10 秒以内または後半 10 秒以内に、衝撃を検出した場合、前もしくは後のデータも『衝撃録画データ』として記録されます。



### ■ マニュアル録画データ

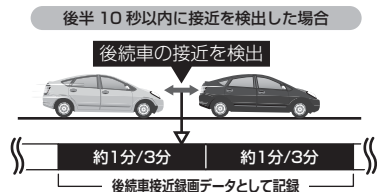
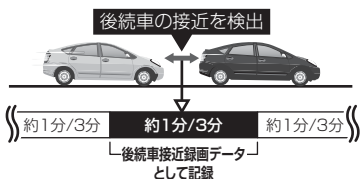
- ・ 本製品の【OK】【ダウン】【アップ】スイッチのいずれかを押すと、スイッチを操作した時点のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。
- ・ ただし 1 ファイルの前半 10 秒以内または後半 10 秒以内に、スイッチを操作した場合、前もしくは後のデータも『マニュアル録画データ』として記録されます。





## ■後続車接近録画データ

後続車接近お知らせ機能(⇒ P42)の録画設定を【ON】に設定した場合、後続車が自車に接近したことを検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを『後続車接近録画データ』として記録します。



後続車の接近を検出した時点のファイルと後のファイルの合計2分または6分を後続車接近録画データとして保存します。

## ■駐車監視衝撃録画データ

- ・駐車監視モード中に本製品内蔵のGセンサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。ただし、[駐車監視録画方式]設定を【衝撃】に設定した場合は、衝撃検出時点の5秒前から55秒または2分55秒を『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。
- ・駐車監視モード中のGセンサーの感度は設定により[高(敏感)/中/低(鈍感)]の3段階で感度調整することができます。(⇒ P51)

### ◆常時・衝撃に設定した場合



### ◆後半 10 秒以内に衝撃を検出した場合



衝撃を検出した時点のファイルと次のファイルの合計2分または6分を駐車監視衝撃録画データとして保存します。

### ◆衝撃に設定した場合



衝撃を検出した時点の5秒前から55秒または2分55秒を駐車監視衝撃録画データとして保存します。

# 映像を撮る

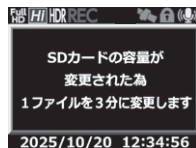
## microSD カードの容量による記録時間について

- ・本製品は microSD カードの容量によって 1 ファイルあたりの記録時間が変わります。
- ・microSD カードの容量による 1 ファイルの記録時間は以下の通りです。

microSD カード容量	1 ファイルあたりの記録時間
8GB	1 ファイル / 1 分
16GB	
32GB	
64GB	
128GB	1 ファイル / 3 分

### 👉 アドバイス

- ・上記表により、1 ファイルあたりの記録時間が変更される microSD カードを挿入した場合は液晶画面とアラームでお知らせを行います。
  - ・本製品でフォーマットを行っていない microSD カードを挿入した場合、microSD カードのフォーマット後に 1 ファイルあたりの記録時間変更お知らせを液晶画面とアラームで行います。
- ※ 1 ファイルの記録時間に変更が無い場合はお知らせしません。



## 初期設定の記録件数の目安

初期設定値【FullHD・高画質・28.1fps・録画領域 20%・駐車監視録画割合 5%】の場合（150 件記録した場合）

容量	常時録画	イベント録画	駐車監視常時録画	駐車監視衝撃録画
32GB	116 件	28 件	4 件	2 件

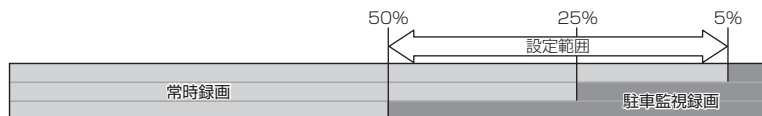
- ※ 駐車監視録画の最低録画件数は 5 件になります。うち駐車監視常時録画は 3 件、駐車監視衝撃録画は 2 件となります。

### ⚠️ 注意

- ・付属品以外の microSD カードを使用する際は必ずフロントカメラで SD カードの初期化（⇒ P53）を行なってください。
- ・microSD カードは消耗品であり、1 日 2 時間程度使用する場合で約 1～2 年を目安に交換することをおすすめします。
- ・microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・付属品や別売オプション品以外の microSD カードの動作保証は致しかねます。

## 駐車監視録画割合について

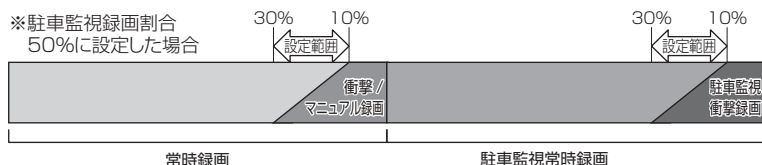
- ・お買い上げ時の設定では microSD カード全体の 95% を常時録画、5% を駐車監視録画の割合として設定されています。
- ・設定により駐車監視録画のデータ保存容量の割合を [5% / 25% / 50%] から選択することができます。(⇒ P50)
- ・録画割合の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。



- ※ 駐車監視録画割合を変更する場合、microSD カードの初期化が必要となり、記録されたデータがすべて消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへのバックアップを行ってから設定を変更してください。
- ※ 駐車監視録画データがない場合でも常時録画の記録できる時間は変わりません。

## イベント録画領域について

- ・お買い上げ時の設定では常時録画、駐車監視常時録画のそれぞれ 20% をイベント録画の領域として設定されています。
- ・設定によりイベント録画のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。(⇒ P45)
- ・イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画と駐車監視常時録画の保存容量の割合は連動して変更されます。



- ※ 衝撃/マニュアル録画データがない場合は 100%常時録画を記録します。
- ※ 駐車監視録画方式を【衝撃】に設定した場合は、駐車監視常時録画の領域も全て駐車監視衝撃録画として保存されます。
- ※ 録画領域を変更すると、microSD カードの初期化が必要となり、記録されたデータがすべて消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへバックアップを行ってから設定を変更してください。

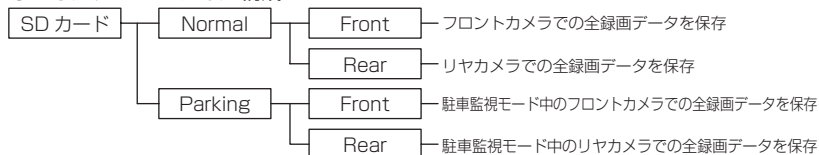
# 映像を撮る

## 保存先フォルダー名・ファイル名について

本製品が microSD カードに記録したデータは、各項目ごとのフォルダーへ録画を開始した日付・録画データの種類をもとにしたファイル名で保存されます。

フォルダーやファイルの変更または削除を行うと、SD カードの初期化が必要となり、全ての動画が削除されますのでご注意ください。

### ●フォルダー・ファイル構成



### ●ファイル名称は以下の内容で保存されます。

#### ■録画データの場合

録画を開始した 年 月 日 時 分 秒

A\_\_ S-YYMMDD-HHMMSS-□□□□□□ F/R.MP4

先頭の録画データ

ファイル作成順  
000001 ~ 999999 まで  
連番で保存

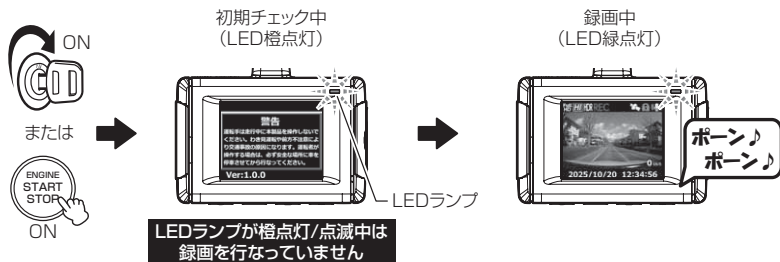
カメラ種別  
F: フロントカメラ  
R: リヤカメラ

#### 録画データ種類

A__ : 常時録画データ	P__ : 駐車監視常時録画データ	P_T : 駐車監視タイムラプスデータ
AG_ : 衝撃録画データ	PG_ : 駐車監視衝撃録画データ	PGT : 駐車監視衝撃タイムラプスデータ
AM_ : マニュアル録画データ	T__ : 常時タイムラプスデータ	
AD_ : 後続車接近録画データ	TG_ : 衝撃タイムラプスデータ	

## 録画を開始する（電源を ON にする）

車両キースイッチを ACC または ON にしてください。



## アドバイス

## microSD カードチェック機能

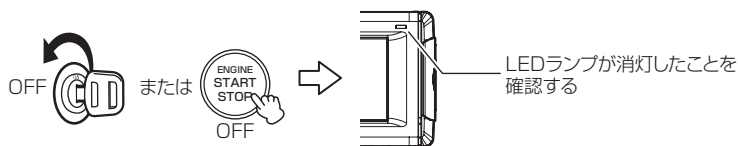
本製品では起動時に microSD カードをチェックし、カードが破損していた場合は液晶表示で異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。

※対処方法に関しては P58 を参照ください。

SDカードを  
確認してください

## 録画を終了する（電源を OFF にする）

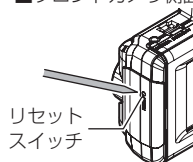
車両キースイッチを OFF にしてください。



## リセットスイッチについて

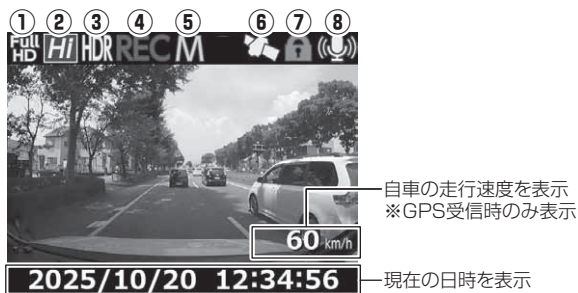
本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際はフロントカメラのリセットスイッチを先の細い物で押して、本製品のシステムを再起動してください。  
※ リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。

■フロントカメラ側面



# 映像を撮る

## 録画面面表示



	アイコン	表示内容
①	<b>Full HD HD</b>	録画サイズの設定を表示 (⇒ P45)
②	<b>Hi Lo</b>	画質の設定を表示 (⇒ P45)
③	<b>HDR WDR</b>	画像補正の設定を表示 (⇒ P46)
④	<b>REC RECT</b>	録画方式を表示
⑤	<b>G M D P PG</b>	録画種類 (衝撃 / マニュアル / 後続車接近 / 駐車常時 / 駐車衝撃) を表示
⑥		GPS の受信状態を表示
⑦		上書き禁止種類 (OFF / イベント / イベント FULL / ALL) を表示 (⇒ P45) ※イベント FULL はイベント録画データ件数が上限に足した場合に表示されます。
⑧		音声録音の設定内容 (OFF / ON 小 / ON 大) を表示 (⇒ P45)

## ■液晶表示の切替えについて

録画面面の表示は【OK】スイッチを**長押し**するたびに、フロントカメラの映像とリヤカメラの映像が切替ります。



- ・リヤカメラを接続していない場合は映像は切替りません。
- ・再生ファイル画面(⇒P32)、再生画面(⇒P33)でも、操作するたびにフロントカメラ映像とリヤカメラ映像が切り替わります。

映像を撮る

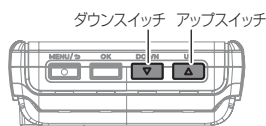
## 本体音量を調整する

- ・本体の確認音やアナウンス音、記録映像再生時の音量を [OFF/1 ~ 10] の 11 段階から選択することができます。
- ・音量を [OFF] に設定していても、メッセージ表示時の確認音やアナウンス音は行います。
- ・お買い上げ時は【5】に設定されています。

※ 本体音量は録画面面上でのみ調整可能です。

### 調整方法

- 1) 録画面面上で【アップ】または【ダウン】を**長押し**し、[音量調整画面]を表示する。



- 2) 【アップ】【ダウン】で音量を調整します。

※ 【アップ】または【ダウン】の**長押し**で、押し続けている間1つずつ上げ下げすることもできます。

※ 一定期間操作を行わないと自動的に録画面面に戻ります。(調整した音量は保存されます)



- 3) 【メニュー/戻る】を押すと調整した音量に設定され、録画面面に戻ります。



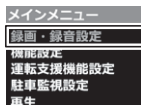
# 映像を見る

## フロントカメラで映像を再生する

1. 【メニュー / 戻る】を**長押し**し、メインメニューを表示する。

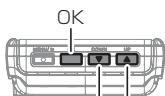


メニュー / 戻る

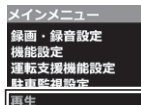


【メニュー / 戻る】を**長押し**

2. [再生]を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す。

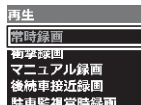


ダウン アップ



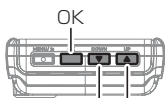
【アップ】【ダウン】で選択

【OK】で  
決定

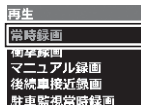


3. 映像の種類を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す。

- [常時録画]..... 常時録画データを表示（駐車監視録画データは除く）
- [衝撃録画]..... 衝撃検出による録画データを表示
- [マニュアル録画]..... スイッチ操作による録画データを表示
- [後続車接近録画]..... 後続車接近お知らせ機能による録画データを表示
- [駐車監視常時録画]..... 駐車監視中の常時録画データを表示
- [駐車監視衝撃録画]..... 駐車監視中の衝撃検出による録画データを表示

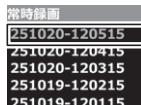


ダウン アップ

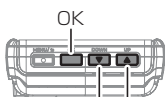


【アップ】【ダウン】で選択

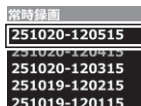
【OK】で  
決定



4. フォルダを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押し、再生ファイル選択画面を表示する。



ダウン アップ

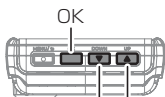


【アップ】【ダウン】で選択

【OK】で  
決定



5. 再生したいファイルを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押すと再生が始まる。



ダウン アップ



【アップ】【ダウン】で選択

【OK】で  
決定



6. 再生終了後は【メニュー / 戻る】を押し、設定画面から抜けることで録画画面に戻ります。

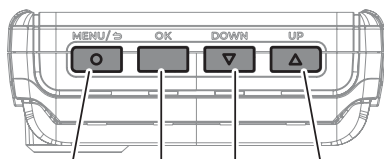


## 再生画面



	アイコン	表示内容
①		動作状態（再生／一時停止／早戻し／早送り）を表示
②		録画サイズの設定を表示（⇒ P45）
③		録画種類（衝撃／マニュアル／後続車接近／駐車常時／駐車衝撃）を表示

## ■再生画面での操作



【短押し】 再生リストへ戻る

【長押し】 録画画面へ戻る

【短押し】 次のデータへ進む

【長押し】 早送り

【短押し】 再生／一時停止を行う

【長押し】 カメラ表示切替

【短押し】 前のデータへ戻る

【長押し】 早戻し

再生画面ではフロントカメラの映像とリヤカメラの映像を同時に表示することはできません。1画面ずつの切替え表示となります。

また、切替え後はそのファイルの先頭から再生を開始します。

# 映像を見る

## 録画データの種別を変換する

- 本製品で記録した録画データは、再生ファイル画面上で【アップ】スイッチと【ダウン】スイッチを同時に長押しすると、録画データの種別を変換することができます。
- 録画データの種別を変換することにより、必要な録画データを常時録画データや駐車監視常時録画データに上書きされることを防いだり、不要なイベント録画データを常時録画データや駐車監視常時録画データに戻すことができます。

変換前の録画種別	変換後の録画種別
常時録画データ	マニュアル録画データ
マニュアル録画 / 衝撃録画 / 後続車接近録画データ	常時録画データ
駐車監視常時録画データ	駐車監視衝撃録画データ
駐車監視衝撃録画データ	駐車監視常時録画データ

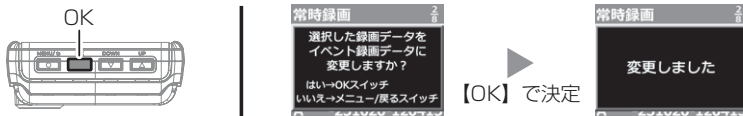
## 再生画面での操作方法

例：常時録画データからマニュアル録画データに変換するには・・・

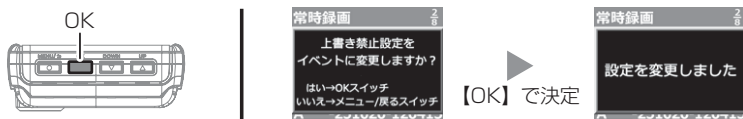
1. P32 を参考に、再生ファイル選択画面を表示させて【アップ】【ダウン】を同時に長押しする。



2. 【OK】を押して [はい] を選択する。



3. マニュアル録画データへ変換後、[上書き禁止] 設定を【イベント】に変更するか確認画面を表示します。変換したマニュアル録画データの上書きを防ぎたい場合は【OK】を押して [はい] を選択してください。



### △ 注意

- 上書き禁止設定を【ALL】または【イベント】に設定している場合は録画種別の変更はできません。
- 駐車監視モードの【録画方式】が【衝撃】となっている場合は、駐車監視常時録画データに変更することはできません。

## パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、専用ビューワソフトを使用することで、加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。

またビューワソフトは、弊社ホームページ (<https://www.e-comtec.co.jp/>) より無料でダウンロードすることができます。

### 👉 アドバイス

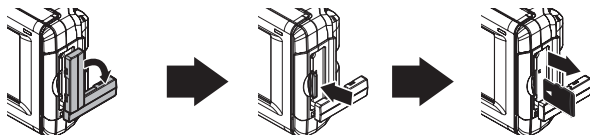
- ・ビューワソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。  
OS：日本語版 Windows 10/11  
CPU：Intel Core i3 プロセッサ 2.4GHz 同等以上を推奨  
メモリー：4GB 以上を推奨  
画面解像度：Full HD (1920 × 1080 ピクセル) 以上を推奨
- ※タブレット PC を除く。
- ※Microsoft Edge がインストールされていないと正常に動作しません。
- ・パソコンの OS アップデートによりビューワソフトが正常に動作しなくなった場合は弊社ホームページより最新版のビューワソフトをダウンロードし、お試しください。  
※最新版のビューワソフトが公開されている場合、ビューワソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)

## ビューワソフトを使用する前に

- 1) 車両キースイッチを OFF 後、microSD カードカバーを開け、microSD カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSD カードを取り出します。

※駐車監視モード中は P56 を参考に取出してください。

- ・microSD カードを取り出すときは、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- ・挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。
- ・アクセスランプ点灯中に引き抜くと録画データが破損し、ビューワソフトが起動しなくなります。その場合、パソコンで最後の動画(破損データ)を削除してください。



カバーを引き出し、横へ倒す。 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜く。

### ⚠️ 注意

- ・microSD カードは高温になります。取り出す際はご注意の上取り出すか、しばらく時間をおいてから取り出してください。
- ・microSD カードを取り出す際はエアコン吹出し口等に落とさないように気を付けてください。
- ・microSD カード内に本機以外のデータを入れないでください。ビューワソフトが正常に動作しなくなります。

# 映像を見る

- 2) カードリーダーなどを使用し、パソコンへ挿入します。



## ビューワソフトを使用する

- 1) microSD カード内のショートカットファイル [HDR301\_download] をダブルクリックし、ダウンロードページを表示し、専用ビューワソフトをダウンロードします。



## アドバイス

ご使用のパソコンやカードリーダーに SD カードサイズのスロットしかない場合は、付属の「SD カード変換アダプター」を使用し、microSD カードを SD カードサイズに変換し、挿入してください。



- 2) ダウンロードしたファイルを展開します。



- 3) 2) で展開したフォルダ内にあるビューワソフト [HDRviewerW2.exe] をダブルクリックし、ビューワソフトを起動します。
- 4) ビューワソフトの参照先ボタンをクリックし、【SD カード】を選択して映像の再生を行なってください。



専用ビューワソフトの詳しい使用方法に関しては  
弊社ホームページをご確認ください。

# 運転支援機能を使用する

## 運転支援機能について

- ・本製品は安全で快適な運転をサポートする運転支援機能を搭載しています。
- ・本機能を使用する場合は必ずキャリブレーション（補正）（⇒P38～P39）を行なってください。
- ・本製品の運転支援機能は下記の7つの機能を搭載しています。

項目	内容
先行車発進お知らせ機能	先行車の発進を検出し、お知らせを行います。
先行車接近お知らせ機能	先行車への接近を検出し、お知らせを行います。
先行車接近継続 お知らせ機能	先行車への <b>継続した</b> 接近を検出し、お知らせを行います。
車線逸脱お知らせ機能	走行車線の逸脱を検出し、お知らせを行います。
後続車接近お知らせ機能	自車への後続車の接近を検出し、お知らせを行います。
ドライブサポート機能	急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出し、お知らせを行います。
車速アラーム機能	設定した速度を超えた場合にお知らせを行います。

### 運転支援機能をご使用する前に下記内容をご確認ください。

- ・運転支援機能は運転者の負担軽減を目的とし、周辺状況、走行状態の変化を補助的にお知らせする機能です。すべての周辺状況、走行状態の変化を判断することはできません。お知らせの有無にかかわらず、必ず運転者が状況・状態を確認してください。
- ・一部機能はGPSを受信していない状態では動作しません。
- ・フロントカメラの取付位置、角度、フロントガラスの汚れ、フロントガラスへの映り込みなどにより正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、天候（雨・雪・濃霧など）、逆光、先行車の形状や色などにより認識できずお知らせしない場合や、車線以外の周辺物や景色の変化などでお知らせを行う場合があります。
- ・運転支援機能作動時の表示画面は録画ファイルに記録されません。
- ・液晶表示設定が [OFF] の場合、画面表示は行いません。（⇒P47）

# 運転支援機能を使用する

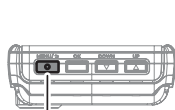
## キャリブレーションを行う

運転支援機能を使用する場合は必ずキャリブレーションを行なってください。運転支援機能が正常に機能しない場合があります。

- ・キャリブレーションは他の車輛の通行の妨げにならない安全な場所で行なってください。またなるべく平坦な場所で行なってください。
- ・運転者は走行中に操作を絶対に行わないでください。必ず停車した状態で操作を行なってください。
- ・フロントキャリブレーションとリヤキャリブレーションを異なる車両の高さに設定することはできません。最後に選択された車両の高さと同じ設定になります
- ・P15に記載の推奨取付位置以外へ取付けた場合、キャリブレーションを行っても正常に動作しない場合があります。

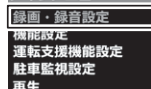
## キャリブレーション方法

1. 【メニュー/戻る】を**長押し**し、メインメニューを表示する。



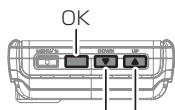
メニュー/戻る

メインメニュー



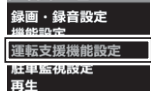
【メニュー/戻る】を長押し

2. 【運転支援機能】を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す。



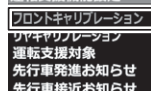
ダウン アップ

メインメニュー



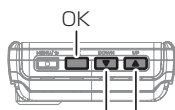
【アップ】【ダウン】で選択

運転支援機能設定



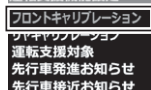
▶  
【OK】で決定

3. 【フロントキャリブレーション】または【リヤキャリブレーション】を【アップ】【ダウン】で選択して【OK】を押す。



ダウン アップ

運転支援機能設定



【アップ】【ダウン】で選択

フロントキャリブレーション



▶  
【OK】で決定

4. 【フロントキャリブレーションを行う場合】または【リヤキャリブレーションを行う場合】を参考にキャリブレーションを行なってください。

## フロントキャリブレーションを行う場合

1. フロントカメラの角度を調整 (⇒ P16) し、下記範囲内に収まる様に上下方向の調整を行います。その後【アップ】【ダウン】スイッチを操作し、赤色の横線が道路の水平線に重なるように上下方向の調整を行なったら【OK】を押す。

- ・道路の水平線が画面の中央付近に収まる。
- ・ボンネットが映像の下部から 25% 以内に収まる。



道路の水平線と走行車線中央が画面の中心付近に合うよう取付角度を調整する

赤い線が道路の水平線に合うように【アップ】【ダウン】で調整する。

ボンネットが映像の下部から 25% 以内に収まる様に調整する。

2. 次に青色の横線が車の先端に合うように【アップ】【ダウン】スイッチを操作し、調整を行なったら【OK】を押す。



車両の先端が映らない場合は、前方約3m先の路面に合わせて青線を調整してください。

青い線が車両の先端に合うように【アップ】【ダウン】で調整する。

3. 最後に車両の高さを選び【OK】スイッチを押し完了です。

## リヤキャリブレーションを行う場合

1. リヤカメラの取付向きを調整 (⇒ P20) し、赤色の横線が道路の水平線に重なるように上下方向の調整を行います。

- ・道路の水平線が画面の中央付近に収まる。



道路の水平線と走行車線中央が画面の中心付近に合うよう取付角度を調整する

赤い線が道路の水平線に合うように【アップ】【ダウン】で調整する。

2. 最後に車両の高さを選び【OK】スイッチを押し完了です。

# 運転支援機能を使用する

## 運転支援機能の各設定について

### 運転支援対象設定

- ・ 運転支援機能を行う対象を「前方 / 後方」から設定できます。
- ・ 各設定で設定できる項目は下記のとおりです。

運転支援対象設定は「前方」または「後方」どちらかのみを対象として設定します。同時に両方を設定することはできません。

運転支援対象	設定可能項目
前方	先行車発進お知らせ設定
	先行車接近お知らせ設定
	先行車接近継続お知らせ設定
	車線逸脱お知らせ設定
後方	後続車接近お知らせ設定

※ [ドライブサポート] [車速アラーム] は運転支援対象設定の項目に含まれません。それぞれ個別に設定することが可能です。

#### ⚠ 注意

運転支援対象設定はそれぞれ各項目設定後に対象設定を変更すると、前回設定内容はリセットされます。あらかじめご了承ください。

### 先行車発進お知らせ機能

停車時に前方の車両の発進を検出した場合、メッセージ画面表示を行い、設定時間 (⇒ P48) 内に走行を開始しないと音声またはアラームでお知らせします。

検出有効距離：0.3m～3m



自車が停車状態



先行車が発進



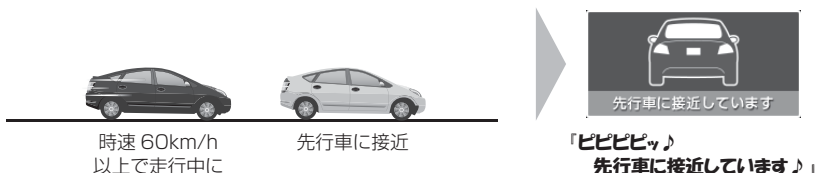
「ピンポン♪  
先行車を確認してください♪」

- ・ GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・ 自車が停止状態の時のみ動作します。
- ・ 先行車との距離、位置や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・ 画像情報を基に動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行う場合があります。
- ・ 先行車の形状や色により正しく動作しない場合があります。
- ・ 液晶表示設定が [OFF] の場合、画面表示は行いません。



## 先行車接近お知らせ機能

時速 60km/h 以上で走行中に前方の車両に接近したことを検出した場合、画面表示と共に音声またはアラームでお知らせします。



- ・GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・自車が 60km/h 以上で走行時のみ動作します。
- ・先行車との距離、位置や車線幅、周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でも接近お知らせを行う場合があります。
- ・先行車の形状や色により正しく動作しない場合があります。
- ・液晶表示設定が [OFF] の場合、画面表示は行いません。

## 先行車接近継続お知らせ機能

- ・[先行車接近お知らせ] 終了後も、10 秒継続して前方の車両より離れなかった場合、最大 3 回まで画面表示とアラームでお知らせします。
- ・お知らせをすることにより意図しない前方車両へのおり運転を防止します。

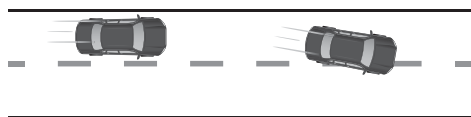


- ・本機能は [先行車接近お知らせ] 機能と連動しているため、[先行車接近お知らせ] 設定が [OFF] の場合、本機能の設定を行うことはできません。
- ・GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・自車が 60km/h 以上で走行時のみ動作します。
- ・先行車との距離、位置や車線幅、周囲の状況、夜間、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行う場合があります。
- ・先行車の形状や色により正しく動作しない場合があります。
- ・液晶表示設定が [OFF] の場合、画面表示は行いません。

# 運転支援機能を使用する

## 車線逸脱お知らせ機能

時速 60km/h 以上で走行中に自車が走行車線を逸脱したことを検出した場合、画面表示と共に音声またはアラームでお知らせします。



時速 60km/h  
以上で走行中

走行車線を逸脱



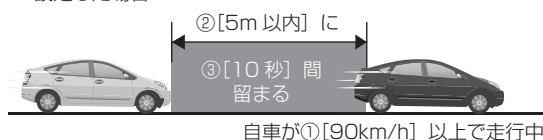
「ピピピピッ♪」  
走行車線を確認してください♪」

- ・ GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・ 自車が 60km/h 以上で走行時のみ動作します。
- ・ 道路の色、車線の色、種類や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・ 画像情報を基に動作するため、車線以外の周辺物や景色の変化でも車線逸脱お知らせを行う場合があります。
- ・ 車両ウインカーと連動しないため、車線変更時にも車線逸脱お知らせを行います。
- ・ 液晶表示設定が [OFF] の場合、画面表示は行いません。

## 後続車接近お知らせ機能

- ・ 設定した速度以上で走行中に、後続車が設定した距離以内に設定した秒数以上接近したことを検出した場合、メッセージ画面表示を行い、設定時間 (⇒ P49) 経過すると音声またはアラームでお知らせします。
- ・ 設定を変更することにより、後続車接近録画データとして保存することもできます。

例) ①走行速度設定【90km/h】、②接近距離設定【5m 以内】、③接近時間設定【10 秒】に設定した場合



「ピピピピッ♪」  
後方を確認してください♪」

- ・ GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・ 自車および後続車が各設定内容と一致した時のみ動作します。
- ・ 後続車との距離、位置や車線の幅、周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。特に夜間では後続車のヘッドライトの光量により車両位置が判別できず、接近お知らせを行うことができません。
- ・ 画像情報を基に動作するため、後続車以外の周辺物や景色の変化でも後続車接近お知らせを行う場合があります。
- ・ 後続車の形状、色により正しく動作しない場合があります。
- ・ 液晶表示設定が [OFF] の場合、画面表示は行いません。

## ドライブサポート機能

- ・急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出した場合、音声またはアラームでお知らせします。
- ・運転状況に応じて音声は異なります。

運転状況	内容
急加速時	ピッピ♪ 急加速を検知しました。
急減速時	ピッピ♪ 急ブレーキを検知しました。
急ハンドル時	ピッピ♪ 急ハンドルを検知しました。

※ [G センサー] 設定が【0.3G】以下のお知らせしません。

※ 自車の走行速度が30km/h未満の場合は急ハンドル時のお知らせを行いません。

例) 急ブレーキを行なった場合



急ブレーキを行い、一定以上のGを検出

「ピッピ♪  
急ブレーキを検知しました。」

### アドバイス

- ・G センサーの設定に応じて検出レベルが変化します。
- ・アラームが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。
- ・スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時はドライブサポートは作動しないことがあります。

### ◇長時間運転報知機能

連続で2時間運転を行なった時に下記のアナウンスを行います。

※ ドライブサポート機能を『アラーム』に設定していてもアナウンスを行います。

「運転時間が2時間になります。そろそろ休憩してください。」

### 車速アラーム機能

- ・設定した速度を超えた場合に、アラームでお知らせします。
- ・警告後1分間は再アラームを行いません。



自車が設定した速度を超える

「キンコン♪  
キンコン♪  
キンコン♪」

# 設定

## 設定方法

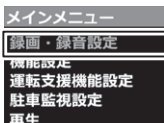
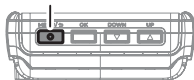
本製品のシステム設定は、メインメニューから変更を行うことができます。

### 設定画面での操作方法

例：録画サイズの設定を【HD】に設定変更するには・・・

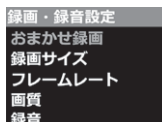
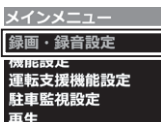
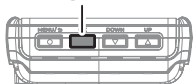
1. 【メニュー/戻る】を長押しし、【メインメニュー】を表示する。

メニュー / 戻る



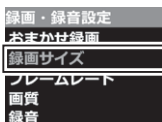
2. 【録画・録音設定】が選択されているので、【OK】を押す。

OK



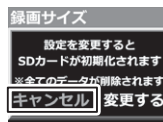
3. 【ダウン】を1回押しして【録画サイズ】を選択し、【OK】を押す。

OK ダウン



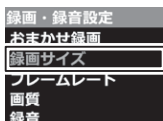
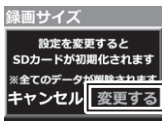
4. 【ダウン】を1回押しして【HD】を選択し【OK】を押す。

OK ダウン



5. 【ダウン】を押して【変更する】を選択し、【OK】を押し設定を変更する。  
※続けて設定することができます。

OK ダウン



6. 【メニュー/戻る】を2回押し【メインメニュー】を終了するとSDカードの初期化が始まり、初期化が終了すると録画画面が表示されます。

※ SDカード初期化終了前に電源をOFFにすると、設定が変更前に戻ります。

## 設定一覧

表内設定値の【太字】は初期設定です。  
表内項目にある【※】は microSD カードが初期化される設定項目です。

## 録画・録音設定一覧

項目	項目説明	設定値	設定内容
おまかせ録画※	【録画サイズ】および【画質】の設定を一括で簡単に変更することができます。	【キレイ】	録画サイズ【Full HD】、画質【高画質】で録画を行います。
		ロング	録画サイズ【HD】、画質【低画質】で録画を行います。
		おすすめ	録画サイズ【Full HD】、画質【低画質】で録画を行います。
録画サイズ※	記録する映像のサイズを設定します。	【Full HD (1920x1080)】	Full HD (1920x1080) サイズで記録を行います。
		HD (1280x720)	HD (1280x720) サイズで記録を行います。
フレームレート	記録する映像のフレームレートを設定します。	【28.1fps】	1 秒間に 28.1 枚の画像を記録します。
		タイムラプス	1 秒間に 1 枚の画像を記録し、長時間の映像を短縮して再生できるように記録します。
画質※	記録する映像の画質を設定します。	【高画質】	高画質で録画を行います。
		低画質	低画質で録画を行います。
録音	記録する映像に音声の録音を行うか設定します。	OFF	音声の録音を行いません。
		ON (小)	小さめの音量で音声の録音を行います。
		【ON (大)】	大きめの音量で音声の録音を行います。
イベント録画領域※	イベント録画 (衝撃録画およびマニュアル録画) の容量割合を設定します。	10%	録画映像の 10% をイベント録画領域として設定します。
		【20%】	録画映像の 20% をイベント録画領域として設定します。
		30%	録画映像の 30% をイベント録画領域として設定します。
上書き禁止	録画データが録画領域の容量上限まで達した場合の動作を設定します。	【OFF】	すべての録画データを上書きします。
		イベント	イベント録画データのみ上書きを禁止します。
		ALL	すべての録画データの上書きを禁止します。

# 設定

項目	項目説明	設定値	設定内容
フロントカメラ 画質補正	フロントカメラの画質補正を設定します。	<b>[HDR]</b>	HDR 補正で映像を記録します。
		WDR	WDR 補正で映像を記録します。
フロントカメラ 輝度	記録するフロントカメラ映像の明るさを設定します。	明るい	明るめの明るさで映像を記録します。
		<b>【標準】</b>	標準の明るさで映像を記録します。
		暗い	暗めの明るさで映像を記録します。
リヤカメラ 輝度	記録するリヤカメラ映像の明るさを設定します。	明 (+3)	明 (+2) よりも明るく映像を記録します。
		明 (+2)	明 (+1) よりも明るく映像を記録します。
		明 (+1)	標準よりも明るく映像を記録します。
		<b>【標準】</b>	標準の明るさで映像を記録します。
		暗 (-1)	暗めの明るさで映像を記録します。
リヤカメラ 上下反転	リヤカメラで撮影する映像の上下方向を設定します。	<b>【標準】</b>	標準の向きで映像を記録します。 ※リヤガラス等に設置する場合はこちらの向きに設定してください。
		反転	反転の向きで映像を記録します。 ※リヤトレイ等に設置する場合はこちらの向きに設定してください。
フロントカメラ ナイトビジョン	ナイトビジョンを <b>【ON】</b> にすることで明かりの少ない夜間でも比較的明るく映像を記録できます。 ※周囲に明かりが全くない状況では明るく撮影できません。	OFF	フロントカメラナイトビジョンを OFF で映像を記録します。
リヤカメラ ナイトビジョン		<b>【ON】</b>	フロントカメラナイトビジョンを ON で映像を記録します。
		OFF	リヤカメラナイトビジョンを OFF で映像を記録します。
		<b>【ON】</b>	リヤカメラナイトビジョンを ON で映像を記録します。
速度情報	速度情報の記録を設定します。	OFF	速度情報を記録しません。
		<b>【ON】</b>	速度情報を記録します。
地図情報	地図情報の記録を設定します。	OFF	地図情報を記録しません。
		<b>【ON】</b>	地図情報を記録します。

## 機能設定

項目	項目説明	設定値	設定内容
Gセンサー	衝撃を検出する感度を前後・左右・上下それぞれ設定します。	OFF	衝撃の検出を行いません。
		0.1G(敏感)～ <b>[0.6G]</b> ～1.0G(鈍感)	0.1G(敏感)～1.0G(鈍感)の間で設定した感度で衝撃を検出し録画を行います。
日時設定	本製品の日時を設定します。	—	GPS受信時にGPSから受信した時刻に自動で補正します。
タイムスタンプ	録画データに録画日時を埋め込みます。専用ビューワソフトを使用せずに、Windows Media Playerなどで再生する際にも録画日時を確認できます。 ※タイムスタンプ機能は録画しながら映像へ日時を埋め込むため、処理状況により若干の時間のずれが発生することがあります。	OFF	録画データに録画日時を埋め込みません。
		<b>[ON]</b>	録画データに録画日時を埋め込みます。
緊急録画停止	緊急録画停止機能(⇒P52)が作動する衝撃感度を設定します。	OFF	強い衝撃を検出しても録画を停止しません。
		1.1G(敏感)～ <b>[1.5G]</b> ～2.0G(鈍感)	1.1G(敏感)～2.0G(鈍感)の間で設定した感度で衝撃を検出し録画を停止します。
液晶明るさ	液晶ディスプレイの明るさを設定します。	明るい	明るめの明るさで液晶ディスプレイを表示します。
		<b>【標準】</b>	標準の明るさで液晶ディスプレイを表示します。
		暗い	暗めの明るさで液晶ディスプレイを表示します。
液晶表示	録画モード中の液晶ディスプレイの表示内容を設定します。	OFF	液晶ディスプレイの表示を行いません。【メニュー/戻る】スイッチを押すと、液晶ディスプレイを30秒間表示し、消灯します。 ※メッセージ画面は表示します。
		<b>【速度連動】</b>	起動後速度10km/h以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示に切替わります。停車後も非表示のままとなりますが【メニュー/戻る】スイッチを押すことにより、次回10km/h以上で走行するまでの間、表示を行います。
		ON	液晶ディスプレイを常に表示します。
		時計	時計とカレンダーを常に表示します。 ※ 時計表示中に【メニュー/戻る】スイッチを押すと30秒間録画映像を表示します。

# 設定

項目	項目説明	設定値	設定内容
録画お知らせ	常時録画、イベント録画開始時のお知らせ音を設定します。	【アラーム】	お知らせをアラームで行います。
		音声	お知らせを音声アナウンスで行います。
パスワード	パスワードを設定することで、他人に録画データを見られないようにするなど、プライバシーの保護やセキュリティを強化できます。	【OFF】	パスワードを設定しません。
		ON	パスワードを設定します。 ※パスワードを設定すると、設定メニューに入るときにパスワードを入力しないとメニュー画面が表示されません。
SDカードの初期化※	microSD カードの録画データを消去し初期化を行います。	—	
工場出荷状態に戻す※	本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。 また日時情報もリセットされます。	—	

## 運転支援機能設定一覧

項目	項目説明	設定値	設定内容
フロントキャリブレーション	フロントとリヤそれぞれの運転支援機能を正確に機能させるための補正設定です。	—	フロントキャリブレーションを行います。 (⇒ P39)
リヤキャリブレーション		—	リヤキャリブレーションを行います。 (⇒ P39)
運転支援対象 (⇒ P40)	運転支援機能を行う対象を設定します。 ※運転支援対象は【前方】または【後方】どちらかのみを対象として設定します。 同時に両方を設定することはできません。	【前方】	前方が対象となる下記運転支援機能を有効にします。 (先行車発進お知らせ / 先行車接近お知らせ / 先行車接近継続お知らせ / 車線逸脱お知らせ)
		後方	後方が対象となる運転支援機能（後続車接近お知らせ）を有効にします。
先行車発進お知らせ (⇒ P40)	■お知らせ設定 前方車両の発進を検出しメッセージ画面表示後にお知らせするか設定します。	【OFF】	お知らせを行いません。
		アラーム	お知らせをアラームで行います。
		音声	お知らせを音声で行います。
	■警報時間設定 メッセージ画面表示後、お知らせ音を鳴らすまでの時間を設定します。	【検出時お知らせ】	検出時にお知らせを行います。
		+3 秒お知らせ	検出しメッセージ画面表示から 3 秒間走行を開始しないとお知らせを行います。
	+5 秒お知らせ	検出しメッセージ画面表示から 5 秒間走行を開始しないとお知らせを行います。	



項目	項目説明	設定値	設定内容
先駆車接近お知らせ (⇒ P41)	60km/h 以上で走行中に自車が前方車両への接近を検出するとお知らせします。	<b>[OFF]</b>	お知らせを行いません。
		アラーム	お知らせをアラームで行います。
		音声	お知らせを音声で行います。
先駆車接近継続お知らせ (⇒ P41)	[先駆車接近お知らせ]後に前方車両への接近を継続していることを検出すると、お知らせします。 ※ [先駆車接近お知らせ設定]機能と連動しているため、[先駆車接近お知らせ設定]が <b>[OFF]</b> の場合、設定できません。	<b>[OFF]</b>	お知らせを行いません。
		アラーム	お知らせをアラームで行います。
		音声	お知らせを音声で行います。
車線逸脱お知らせ (⇒ P42)	60km/h 以上で走行中に自車が走行車線を逸脱すると、お知らせします。	<b>[OFF]</b>	お知らせを行いません。
		アラーム	お知らせをアラームで行います。
		音声	お知らせを音声で行います。
後続車接近お知らせ (⇒ P42)	■お知らせ設定 後続車の接近を検出しメッセージ画面表示後にお知らせするかを設定します。	<b>[OFF]</b>	お知らせを行いません。
		アラーム	お知らせをアラームで行います。
		音声	お知らせを音声で行います。
	■警報時間設定 メッセージ画面表示後、お知らせ音を鳴らすまでの時間を設定します。	検出時お知らせ	検出時にお知らせを行います。
		<b>[+3 秒お知らせ]</b>	検出しメッセージ画面表示から 3 秒後にお知らせを行います。
		+5 秒お知らせ	検出しメッセージ画面表示から 5 秒後にお知らせを行います。
	■録画設定 後続車接近のお知らせ時に録画を行うかを設定します。	<b>[OFF]</b>	後続車接近録画を行いません。
		ON	後続車接近録画を行います。
	■走行速度設定 後続車検出を行う自車の走行速度を設定します。	50km/h ~ <b>[90km/h]</b> ~ 100km/h	設定速度 (50km/h ~ 100km/h) 以上でお知らせを行います。
		■接近距離設定 後続車検出を行う後続車の接近距離を設定します。	<b>[5m 以内]</b>
	10m 以内		10m 以内の後続車を検出します。
	■接近時間設定 後続車検出を行う後続車の接近時間を設定します。	5 秒	検出時間を 5 秒に設定します。
<b>[10 秒]</b>		検出時間を 10 秒に設定します。	
15 秒		検出時間を 15 秒に設定します。	

# 設定

項目	項目説明	設定値	設定内容
ドライブサポート (⇒P43)	急加速や急減速、急ハンドル等一定以上の加減速を検出した時にお知らせします。また連続で2時間運転を行なった際にお知らせを行なう、長時間運転報知機能も連動してONになります。 ※Gセンサー設定が0.3G以下の場合はお知らせしません。 ※自車速度が30km/h未満の場合は急ハンドル時のアナウンスは行いません。	【OFF】	お知らせを行いません。
		アラーム	お知らせをアラームで行います。
		音声	お知らせを音声で行います。
車速アラーム (⇒P43)	設定した速度を超えた場合にお知らせします。 ※お知らせ後1分間は再お知らせを行いません。	【OFF】	お知らせを行いません。
		10km/h ~ 140km/h	10km/h ~ 140km/hの設定した速度以上でお知らせを行います。

## 駐車監視設定一覧

項目	項目説明	設定値	設定内容
駐車監視モード※	駐車監視モードの設定をします。	【OFF】	駐車監視モードを設定しません。
		ON	駐車監視モードを設定します。
録画割合※	駐車監視録画データの保存容量の割合を設定します。駐車監視モード設定を変更すると自動的に表示します。	【5%】	保存容量5%に設定します。
		25%	保存容量25%に設定します。
		50%	保存容量50%に設定します。
録画方式※	駐車監視録画方式を設定します。	衝撃	駐車監視モード中、衝撃録画のみ記録します。
		【常時・衝撃】	駐車監視モード中、常時録画および衝撃録画の記録を行います。
		タイムラプス	駐車監視モード中、1秒に1枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画および衝撃録画の記録を行います。

項目	項目説明	設定値	設定内容
録画停止電圧	駐車監視モードを停止する車両バッテリーの電圧を12V/24V車両それぞれ6段階から設定します。 ※起動時に車両電圧を認識して数値を表示します。	12V車 11.7V ~ <b>[12.2V]</b> (0.1V 単位で設定)	11.7V~12.2Vの設定したバッテリー電圧で駐車監視モードを停止します。
		24V車 23.4V ~ <b>[24.4V]</b> (0.2V 単位で設定)	23.4~24.4Vの設定したバッテリー電圧で駐車監視モードを停止します。
録画時間	駐車監視モードの動作時間を設定します。	<b>[30分]</b> ・1時間 ~ 12時間・24時間	駐車監視モードの動作時間を30分、1時間 ~ 12時間、または24時間に設定します。
		常時ON	駐車監視モードを常時ONします。
衝撃お知らせ	駐車監視モード中に衝撃を検出した場合、次回起動時の本体動作、お知らせ方法を設定します。	OFF	駐車監視中に衝撃録画を行なった場合でもお知らせを行なわず、録画を開始します。
		<b>[ON (お知らせのみ)]</b>	駐車監視中に衝撃録画を行なった場合、次回起動時に駐車時衝撃検出アナウンスのみ行い、 <u>録画を開始します。</u>
		ON(録画停止)	駐車監視中に衝撃録画を行なった場合、次回起動時に衝撃検出アナウンスを行い、 <u>録画を停止します。</u>
衝撃感度	駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を設定します。	高(敏感)	高(敏感)感度で検出します。
		<b>[中]</b>	中感度で検出します。
		低(鈍感)	低(鈍感)感度で検出します。
降車キャンセル	車両から降車する際の振動による衝撃を検出しても、駐車監視衝撃録画データとして記録を行わない時間を設定します。	1分	1分間検出しません。
		<b>[3分]</b>	3分間検出しません。
		5分	5分間検出しません。
乗車キャンセル	車両へ乗車する際の振動による衝撃を検出しても、衝撃お知らせを行なわない時間を設定します。	1分	1分以内の衝撃をお知らせしません。
		<b>[3分]</b>	3分以内の衝撃をお知らせしません。
		5分	5分以内の衝撃をお知らせしません。

# 設定

## イベント録画領域設定※設定を変更すると microSD カードが初期化されます。

- ・ イベント録画（衝撃録画 / マニュアル録画 / 後続車接近録画）の容量割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。
- ・ お買い上げ時は【20%】に設定されています。
- ※ イベント録画件数が少ない場合は、常時録画領域として使用されます。

### ■ microSD カード容量によるイベント録画件数

設定	microSD カード容量				
	8GB	16GB	32GB	64GB	128GB
10%	3 件	7 件	14 件	29 件	19 件※ 1
20%	6 件	14 件	28 件	58 件	28 件※ 1
30%	9 件	21 件	43 件	87 件	58 件※ 1

- ※ 太枠は付属 microSD カードを示します。
- ※ 上記件数は初期設定の録画サイズ (FullHD) ・ 画質 (高画質) ・ 駐車監視録画割合 (5%) での目安となり、実際とは異なる場合があります。また、駐車監視衝撃録画は含みません。
- ※ 1 microSD カード容量 128GB の場合は 1 ファイル (1 件) の記録時間が 3 分になります。(⇒ P26)

## 緊急録画停止設定

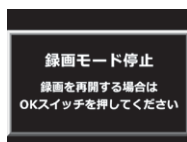
- ・ 緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 60 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
- ※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- ・ 衝撃を検出する感度を [OFF / 1.1G (敏感) ~ 2.0G (鈍感)] から選択することができます。
- ・ お買い上げ時は【1.5G】に設定されています。

### △ 注意

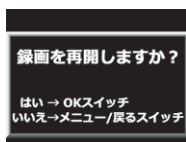
強い衝撃を検出し、録画が停止するまでの 60 秒の間に設定メニューに入る、microSD カードを抜く、その他メッセージ表示が出た場合は本機能による録画の停止は行われません。ご注意ください。

### ■ 録画を再開する場合

- 緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。**録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。**
- ※ 再開するまで 3 分に一度音声でお知らせします。



① [OK] を押す



② [OK] を押す



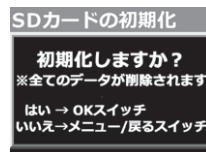
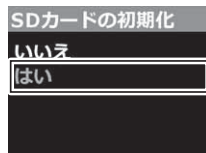
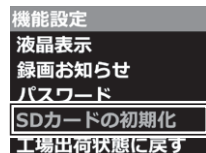
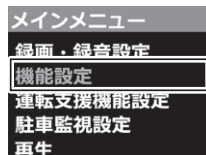
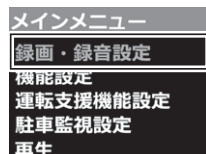
③ 録画が再開される

## SD カードの初期化（録画データの消去）

- ・ microSD カードの録画データを消去し初期化を行います。  
（初期化を行っても本製品の設定情報は保持されます）
  - ・ 新しい microSD カードや付属以外の microSD カードを使用する場合は、必ず SD カードの初期化を行なってください。
- ※ microSD カード内のデータがすべて消去されます。必ず事前に、録画データが必要な場合はバックアップを行なってください。ビューワソフトは弊社ホームページからダウンロードすることも出来ます。
- ※ 安定してご使用いただくため、定期的に初期化することをおすすめします。

### ■初期化方法

- 1) 【メニュー/戻る】を**長押し**し、【メインメニュー】を表示する。  
 ※ 60 秒間スイッチ操作を行わないと録画面に戻ります。
- 2) 【ダウン】を押し【機能設定】を選択し【OK】を押す。
- 3) 【アップ】を2回押し【SDカードの初期化】を選択し、【OK】を押す。
- 4) 【ダウン】で【はい】を選択し、【OK】を押す。
- 5) 【OK】を押すとSDカードが初期化されます。



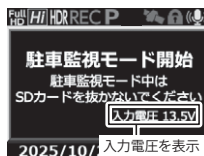
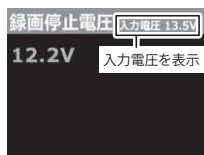
# 駐車監視モードを使用する（オプション）

## 駐車監視モードについて

- ・別売オプションのHDR0P-14『駐車監視・直接配線コード』を使用することで、車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができます。
- ・HDR0P-14『駐車監視・直接配線コード』を接続後は設定モードより[駐車監視モード]の設定を変更してください。接続しただけでは駐車監視モードに移行しません。
- ・付属の直接配線コードを接続しても駐車監視モードを使用することはできません。

## 駐車監視モードに設定する前に

- ・別売の『駐車監視・直接配線コード』を取付後、【メニュー/戻る】を**長押し**し、【メインメニュー】→[駐車監視設定] → [録画停止電圧設定] を表示します。現在の入力電圧が表示されますので、テスターなどを使用して常時電源接続箇所と**入力電圧**の数値に大きな差がないことを確認します。
- ・駐車監視中の**入力電圧**は[駐車監視モード]をONに設定して、車両キースイッチをOFFにした後の駐車監視モード開始画面でも確認することができます。



## 👉 アドバイス

- ・常時電源線の接続箇所と電圧の差が大きい場合は、常時電源線の接続確認やアース線接続箇所の変更を行なってください。
- ・表示される数値はあくまでも参考値となります。本製品の設定内容によっても表示誤差は発生します。
- ・常時電源線のカットや延長は、表示数値の誤差が大きくなりますので行わないでください。

## ⚠️ 注意

- ・駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- ・次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。（毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している）
- ・駐車監視モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行なってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- ・車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・長時間録画を行う場合、microSDカードの容量や録画サイズの設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

## 駐車監視モードの動作について

### 駐車監視モードに移行する

- ・ [駐車監視モード] 設定を ON に設定し、車両キースイッチを OFF にすると駐車監視モードに移行します。
- ・ 駐車監視モード移行後、降車キャンセルタイマー中は LED ランプが緑 3 回早点滅を繰り返します。
- ・ 降車キャンセルタイマー終了後、駐車監視モード動作中は LED ランプが緑 3 回早点滅を繰り返します。
- ・ 駐車監視モード中の常時録画データは『駐車監視常時録画』データとして記録され、衝撃録画データは『駐車監視衝撃録画』データとして記録されます。

■ 駐車監視モード動作中

緑 3 回早点滅



### アドバイス

車両キースイッチ OFF 後、[降車キャンセル] (⇒ P51) 設定時間内は、降車時の振動による衝撃とみなし、衝撃の検出を行いません。

### ワントタイム駐車監視モード

- ・ 通常駐車監視モード設定を【OFF】に設定していても、車両キースイッチを OFF 後、お知らせ画面表示中に **フロントカメラ下部のスイッチいずれかを長押し**した時点から一時的に駐車監視モードを ON にすることができます。
- ・ 外出先でのみ駐車監視モードを使用したい場合などにご使用することをおすすめします。
- ※ 「ワントタイム駐車監視モード」による駐車監視モードも、通常の駐車監視モード時の詳細設定が反映されます。
- ※ 「ワントタイム駐車監視モード」は、車両キースイッチを ON にし、フロントカメラの電源を ON にすることで解除され、[駐車監視モード設定]による設定に戻ります。

### 駐車監視モードを終了する

- ・ 駐車監視モードは車両キースイッチが ACC または ON になった時点や **フロントカメラ下部のスイッチいずれかを長押し**することで終了させることができます。
- ・ 停止電圧設定以下になった際や駐車監視録画時間設定で設定した時間経過後にも駐車監視モードは終了します。

■ 駐車監視モードを手動で終了する場合

車両キースイッチを ACC または ON にする

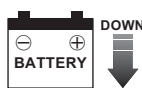


4つのスイッチいずれかを長押しする



■ 駐車監視モードが自動的に終了される場合

車両バッテリーの電圧が低下する



設定した録画時間を経過する



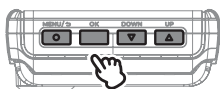
駐車監視モード  
を使用する

# 駐車監視モードを使用する（オプション）

## 駐車監視モード作動中の microSD カードの取り出し方

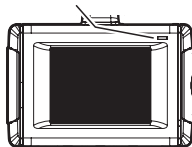
駐車監視モード作動中の場合、車両キースイッチを OFF にしても本製品は動作しています。そのため microSD カードを抜く際は、**必ずフロントカメラ下部のスイッチいずれかを長押しして駐車監視モードを終了後、LED ランプが消灯したことを確認し**、microSD カードを抜いてください。

駐車監視モード作動中  
(LED3 回早点滅の繰り返し)



4つのスイッチ  
いずれかを長押しする

駐車監視モード停止（LED 消灯）



## 駐車監視モードについてのご質問

### Q. 駐車監視モード中はずっと録画していますか？

- A. 本製品の駐車監視モード中は電源 OFF 後も設定により常時録画および衝撃録画を行います。ただし、駐車監視モード設定中でも [録画時間] 設定時間経過後や、車両バッテリーの電圧が [録画停止電圧] 設定以下になると、駐車監視モードを終了します。  
※ 夏の暑い日や冬の寒い日など、駐車監視モード中にフロントカメラの使用温度範囲を超えた場合、録画を停止する場合があります。あらかじめご了承ください。

### Q. 駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまう

- A. 1. [駐車監視モード] 設定が **[ON]** に設定されていることをご確認ください。  
2. 本製品は車両バッテリー保護のため、停止電圧が設定されています。車両バッテリーが劣化している場合や、車両バッテリーの電圧が [録画停止電圧] 設定以下やその付近の場合は駐車監視モードに移行しないことがあります。  
3. HDROP-14『駐車監視・直接配線コード』の常時電源線（黄）を、車両 ACC 線へ接続していたり、未接続だと駐車監視モードへは移行しません。

### Q. 駐車監視モードの作動確認を行うには？

- A. 駐車監視モード作動中は P61 記載の LED ランプ確認表で作動確認を行なってください。

### Q. 後方、側方の映像も録画しますか？

- A. フロントカメラとリヤカメラの向いている方向のみの録画となります。

### Q. 夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？

- A. 駐車監視モード中はヘッドライトなどの光源が無いため、状況によって鮮明な映像が記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。



## よくあるご質問

よくお問い合わせいただくご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

内 容	ここをチェックしてください。	参照ページ
フロントカメラの液晶表示が消える。	● [液晶表示設定] が [速度連動] になっていませんか？ [ON] に変更することで液晶ディスプレイを常に表示することができます。	47 ページ
LED ランプが点灯しない。	● 直接配線コードのヒューズが切れていませんか？ ● 直接配線コードが接触不良や断線などしていませんか？	— 14 ページ
GPS 衛星を受信しない。	● フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？ ● カメラ側に電波を遮断する物はありませんか？	6 ページ 15 ページ
記録した映像を削除したいのですが？	● ビューワソフトを使用してファイルを削除することができます。	—
事故の衝撃映像が保存されていない。	● 事故の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画を行うか、常時録画データをご確認ください。	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	● [録画サイズ] および [画質] の設定を変更することで記録時間を変更することができます。	45 ページ
microSD カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	● microSD カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。 ● イベント録画データ（衝撃 / マニュアル / 駐車監視衝撃 / 後続車接近）は上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定しているとメッセージが表示され、上書きされません。録画を再開するにはビューワソフトで不要なデータを削除するか、上書き禁止設定を [OFF] に設定してください。	23 ページ 45 ページ
microSD カードに録画データが保存されていない。	● microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度走行する場合で約1～2年を目安に交換することをおすすめします。また使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。	8 ページ
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	● microSD カード内に本機以外のデータが保存されていませんか？ ● 必要な映像をパソコンへ保存してから、フロントカメラで microSD カードの初期化を行ってください。	5 ページ 9 ページ 53 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	● 事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	5 ページ
microSD カードがパソコンで認識されない。	● お使いの SD カードリーダーは SDHC に対応していますか？ 付属のカードは microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。 ● microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度走行する場合で約1～2年を目安に交換することをおすすめします。また使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。	— 8 ページ
ビューワソフトが起動しない。	● microSD カードに不要なデータや破損ファイルがあるとビューワソフトが起動しなくなります。必要なデータをパソコンに保存してから、フロントカメラで microSD カードをフォーマットしてください。	9 ページ 53 ページ

# 付 録

## メッセージ一覧表

下記メッセージが表示された場合、対処方法をご確認ください。

※ 下記メッセージ画面を表示し、LED ランプの橙点滅でお知らせします。

メッセージ	対処方法
SD カードが挿入されていません	電源を OFF 後 microSD カードを挿入し、再起動してください。
SD カードを確認してください	microSD カードの断片化が進み、書き込み速度が低下している際や、microSD カードが故障した際に表示されます。電源 OFF 後、microSD カードを抜き、端子部が汚れていないか確認し、microSD カードを挿入し再起動してください。 症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行なってください。それでも改善されない場合は microSD カードの故障が考えられるため、microSD カードの交換をおすすめします。
SD カードの初期化を行なってください	新しい microSD カードを挿入すると表示されます。初期化を行なってください。
録画データと設定が一致しません どちらか選択して初期化してください	設定が異なる microSD カードを挿入すると表示されます。 ※[SD カード] または [本体設定] のどちらかを選択し、初期化してください。
録画データが変更されています SD カードの初期化を行なってください	microSD カード内の録画データをパソコンで削除など操作をした際に出るメッセージです。フロントカメラで microSD カードの初期化を行なってください。
高温注意 本体温度が下がるまで録画を停止します	フロントカメラの使用温度範囲を超えているため、正常に録画できないことが考えられます。夏場などはしばらく時間をおいて車内の温度が下がってからご使用ください。
上書き禁止 イベント録画がいっぱいです	上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定した状態で、microSD カードの容量を超えて録画しようとした際に出るメッセージです。
上書き禁止 録画データがいっぱいです 録画を停止します	上書き禁止設定を [OFF] に設定するか、ビューソフトで不要な録画データを消去してください。
リセットスイッチを押して再起動してください	リセットスイッチを押して本製品を再起動してください。症状が改善されない場合は、弊社サービスセンターへご相談ください。

メッセージ	対処方法
パスワードが違います	パスワードが間違っています。正しいパスワードを再度入力してください。
しばらくお待ちください	録画データの読み込みに時間がかかる際に表示します。処理が終了するまでしばらくお待ちください。※状況により数分かかる場合があります。
日時がリセットされています GPSを受信することで 自動で日時を設定します	お買い上げ時や[工場出荷状態に戻す]を行なった後など日時情報が保存されていない場合、本製品の電源をONすると表示されます。GPSを受信することで、自動的に日時が設定されますが、繰り返し表示される場合は、弊社サービスセンターまでご相談ください。
SDカードの寿命が 近づいています SDカードを交換してください	microSDカードの寿命が近づいている際に出るメッセージです。 新しいmicroSDカードに交換してください。
更新に失敗しました ボタンを押すと再起動します 10秒後に自動再起動します	機種名をご確認のうえ、専用のファームウェアをもう一度ダウンロードして更新を行なってください。
リヤカメラの映像がありません	本体再生でリヤカメラの映像が無い場合に出るメッセージです。
リヤカメラの接続を 確認してください	リヤカメラが正常に動作していない場合に出るメッセージです。カメラ通信ケーブルの抜き差しを行っても、症状が改善されない場合は、弊社サービスセンターまでご相談ください。

# 付 録

## 記録時間の目安

### microSD カード容量による記録時間の目安

記録時間は microSD カードの容量、録画サイズ設定、画質設定により変動します。  
(下記表は常時録画およびイベント録画を含めた時間です)

※ 対応 microSD カード：8GB～128GB (class10 推奨)

※ 本製品付属 microSD カード：32GB (class10)

microSD カード容量	フレーム レート	録画サイズ			
		FullHD		HD	
		高画質	低画質	高画質	低画質
8GB	28.1fps	約30分	約45分	約50分	約85分
	タイムラプス	約7時間	約11時間	約12時間	約21時間
16GB	28.1fps	約70分	約95分	約105分	約175分
	タイムラプス	約17時間	約24時間	約27時間	約44時間
32GB	28.1fps	約140分	約190分	約215分	約345分
	タイムラプス	約36時間	約48時間	約54時間	約86時間
64GB	28.1fps	約290分	約385分	約435分	約695分
	タイムラプス	約72時間	約96時間	約108時間	約174時間
128GB	28.1fps	約580分	約770分	約870分	約1390分
	タイムラプス	約145時間	約193時間	約218時間	約347時間

※ 太枠は付属 microSD カードを示します。

※ 本製品の初期設定は録画サイズ【FullHD】、画質【高画質】、フレームレート【28.1fps】、イベント録画領域【20%】、駐車監視録画割合【5%】に設定されています。なお、上記表に駐車監視録画時間は含みません。

### 駐車監視モード中のタイムラプス録画設定時の記録時間

駐車監視モードの〔録画方式〕設定を【タイムラプス】に設定した場合、1秒に1枚の静止画を記録することで、1分間のファイルに15分間分の映像が収録されます。

録画サイズ	画質	録画割合 (microSD カード 32GB)		
		5%	25%	50%
FullHD	高画質	約2時間	約9時間	約18時間
	低画質	約2時間	約12時間	約25時間
HD	高画質	約2時間	約14時間	約28時間
	低画質	約4時間	約22時間	約44時間

※ 本製品の初期設定は録画サイズが【FullHD】、画質が【高画質】に設定されています。

※ 128GB microSD カードを使用した場合、1ファイルあたりの記録時間が変更されるため、3分間のファイルに45分間分の映像が収録されます。(⇒P26)

#### ⚠ 注意

- ・市販の microSD カードを使用する場合は、必ず本体で動作することを確認の上、ご使用ください。なお、動作や保存などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・使用する microSD カードによっては上記各表の録画時間と異なる場合があります。

## LED ランプ確認表


本製品動作時の LED ランプの確認表です。

フロントカメラ LED 表示	リヤカメラ LED 表示	フロントカメラ 動作	内容
緑点灯	緑点灯	録画中	録画中
緑点滅		録画中	衝撃録画中またはマニュアル録画中
橙点灯	消灯	録画停止	設定モード中
橙点滅		録画停止	メッセージ表示または緊急録画停止中
緑 / 橙交互点滅		録画停止	本体ファームウェアのアップデート中
駐車監視時			
緑 3 回早点滅	緑点灯	録画中	駐車監視モードによる録画中
橙 3 回早点滅		監視中	衝撃待機中 ※録画方式 [衝撃] を選択時
緑点滅		録画中	駐車監視モードによる衝撃録画中 降車キャンセルタイマー中 (録画方式 常時・衝撃設定時)
橙点滅		監視中	降車キャンセルタイマー中 (録画方式 衝撃設定時)

## オートディマー機能

オートディマー機能により、周囲の明るさによって LED ランプと液晶の明るさを自動的に調整します。

## 商標について

- ・ microSDHC および microSDXC は SD アソシエーションの登録商標です。
- ・ microSDHC ロゴ、microSDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。 
- ・ Windows はアメリカ合衆国 Microsoft Corporation のアメリカ合衆国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Windows は Microsoft Windows operating system の略称として表記しています。
- ・ Intel Core はアメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。
- ・ Google および Google ロゴ、Google マップおよび Google マップロゴ、ストリートビューは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- ・ OMNIVISION と PURECEL は OmniVision Technologies, Inc. の商標です。
- ・ その他、取扱説明書に記載されている各種名称や会社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、®マークは明記していません。

# 付 録

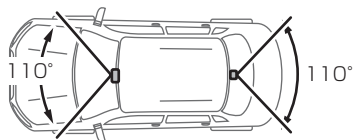
## 製品仕様

電源電圧	DC12V/24V	
最大消費電流	通常時：700mA 以下 / スーパーキャパシタ充電時：800mA 以下	
動作温度範囲	-10℃～60℃	
カメラ	フロントカメラ	リヤカメラ
撮像素子	1/2.8 型 CMOS センサー	1/2.8 型 CMOS センサー
総画素数	200 万画素	200 万画素
有効画素数	最大 200 万画素	最大 200 万画素
レンズ画角	水平 110° 垂直 58° (対角 135°)	水平 110° 垂直 58° (対角 135°)
F 値	F2.0	F2.0
記録映像サイズ	FullHD (1920 × 1080) HD (1280 × 720)	
録画画質	FullHD	高画質 (平均 10Mbps) / 低画質 (平均 8Mbps)
	HD	高画質 (平均 7.2Mbps) / 低画質 (平均 4Mbps)
GPS	○	
G センサー	○	
記録方式	常時録画 / イベント録画 (衝撃録画、後続車接近録画) / マニュアル録画 (手動録画)	
録画ファイル構成	1 分 / 3 分単位	
音声録音	ON/OFF 可能	
フレームレート	28.1fps	28.1fps
映像ファイル形式	MP4 (MPEG-4 AVC / H.264)	
記録映像再生方法	専用ビューワソフト ※ Windows10/11 専用 (タブレット PC 除く) 本体液晶	
記録媒体	microSD カード (付属：32GB/class10) 8～128GB 対応 class10 推奨	
液晶サイズ	2.0 インチフルカラー IPS 液晶	
本体サイズ	フロントカメラ	リヤカメラ
	78(W)×51.3(H)×29.4(D)/mm	42.6(W)×30.5(H)×23.5(D)/mm
取付ステー装着時	78(W)×78.3(H)×29.4(D)/mm	42.6(W)×48.6(H)×23.5(D)/mm
重量	95g	29g

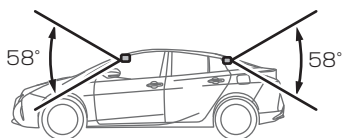
※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

### ■ カメラ画角イメージ

#### ■ 水平画角



#### ■ 垂直画角



# HDR301 保証書

保証期間	ご購入日より3年間
対象部品	フロントカメラ/リヤカメラ ※その他付属品は除く

## 保証規定 (必ずお読みください)

### 1. 保証の内容

取扱説明書の内容に従った使用方法で不具合が発生した場合、この保証書に示す保証期間と条件に従って無償修理(保証修理)を受けることができます。  
(以下、この無償修理を保証修理といえます)

保証修理は部品の交換あるいは製品の交換により行い、交換された部品・製品は弊社の所有となります。  
この保証規定による保証修理の対象は本書記載の対象部品に限ります。  
なお、本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。

### 2. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合、お買い上げいただいた販売店にこの保証書をご提示の上、保証修理をお申し付けください。

ご提示がない場合、保証修理をお受けしたしかねます。  
なお、販売店がこの保証書にご購入日の証明をされていない場合は、お客様のご購入日を確認できる書類(レシートなど)を添付してください。

販売店に製品を送付される場合、この保証書を製品に添えてお送りください。

製品を送付される場合、宅配便など送付控が残る方法をお願いします。

なお、送料などの諸費用、引取りに伴う出張費はお客様のご負担になります。また送料着払いにて発送された場合、弊社からお客様に着払いにて返送させていただきます。あらかじめご了承ください。

### 3. 保証しない事項

1) 保証期間内で次のような場合には保証修理いたしません。

- (1) 取扱説明書に記載されている"警告・注意・ご使用上のお願ひ"その他記載内容を遵守されなかったことによる故障または損傷。
- (2) 車載用ドライブレコーダー以外の用途(例えば、住居・船舶・建設機械等)で使用されたことによる故障または損傷。
- (3) 指定以外(DC12V/24V)の電源で使用した場合、および電源の逆接続などによる故障または損傷。
- (4) 弊社または弊社指定の取扱販売店以外による点検・修理・移設・分解したもの、改造したもの。
- (5) お買い上げ後の落下・衝撃・水濡れ・結露などによる故障または損傷。
- (6) 火災・地震・風水害・落雷・その他天変地異や公害・塩害・異常電圧・事故などによる故障または損傷。

- (7) 弊社指定の部品以外をご使用になったことによる故障または損傷。
- (8) 本機での使用目的以外のデータを記録した microSD カード、弊社指定以外の microSD カードのご使用によって生じた記録データの消失または破損。
- (9) 車両事故によって生じた記録データの消失または破損。
- (10) 使用推奨期限を超過した microSD カードをご使用になられたことによる記録データの消失または破損。
- (11) カメラレンズの汚れ、フロントガラスに付着した汚れ・水滴・高輝度光源などを介して記録したデータの見づらさ。
- (12) 本製品以外の故障等に誘発された記録データの消失・破損、フロントカメラの故障または損傷。
- (13) ご使用によって生じる外観・美観・色あせなどの外観上の現象。
- (14) 取扱説明書に記載されている、温度の範囲を超えた環境下でご使用になられたことによる故障または損傷。

2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- (1) 商品を使用できなかったことによる不便さおよび損失。
- (2) 消耗部品(microSD カード、1A ガラス管ヒューズ) および上記対象部品以外の付属品
- (3) 本製品の使用・故障・修理に伴う二次的損害(修理品の送料、脱着工賃)に対する補償。

### 4. 保証の発効

保証書に必要な事項を記入、捺印することにより有効となります。

本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

### 5. 保証の適用

この保証書は日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

(This warranty is valid only in JAPAN)

### 6. その他

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて保証修理をお約束するものです。

この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間満了後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合せください。

# 保証書

コピー不可

本書は保証規定（裏面参照）に明示した条件のもと、無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で万一故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	HDR301	シリアルNo.			
お買上げ年月日	お買上げ日 西暦 年 月 日				
保証期間	お買上げ日から3年				
対象部分	フロントカメラ / リヤカメラ ※その他付属品は除く。				
お客様	お名前 様	店名・住所・電話・捺印			
	ご住所 〒 -	★販売店 印 ※ 本欄に記入または捺印が無い場合、必ず販売店様発行の領収書など、購入年月日、店名などを証明するものをお貼りください。			
	電話番号 ( ) -				
お取付車両	メーカー名	車名	年式	型式	グレード
故障内容					

※保証書に販売店名、購入年月日を証明するもの、または購入証明書（納品書や領収書）が無いものは保証対象外とさせていただきます。またお送り頂く際の送料は保証に含まれていません。予めご了承ください。

## お問い合わせ

製品のお取扱方法、修理等に関するご相談は、お買上げ頂いた販売店または下記弊社サービスセンターまでお問い合わせください。ただし、お客様ご自身の取付作業に対するサポートは行っておりません。

 **0800-200-5654**

受付時間 10:00~17:00

※土・日・祝日・年末年始・夏季休暇・GW等、弊社指定期間を除く。

※非通知設定ではお繋ぎできません。恐れ入りますが電話番号の前に「186」をつけるなど、電話番号を通知しておかけください。

※携帯電話やPHS、公衆電話、050から始まるIP電話からはご利用いただけません。また、一部の光電話からもご利用いただけません場合があります。その際は下記番号よりおかけください。

**0561-56-1814** (有料)

株式会社コムテック

〒470-0151 愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字池上 1-1

HP : <https://www.e-comtec.co.jp>